

Tokyo Dental College Alumni Association



歯科医師になった君たちへ

～学生時代には伝えられなかったこと～

参加費
無料

2016.11.3

12:00～ (懇親会 16:15～)

【講演会】
東京歯科大学 水道橋校舎 本館 13 階
【懇親会】
東京歯科大学 水道橋校舎 南棟 2 階



（注）東京歯科大学同窓会 東京都千代田区三船町2-9-1, 8
TEL: 03-6242-1761
（注）東京歯科大学同窓会新設委員会
（協力）東京歯科大学



目 次

グラビア ふるさと自慢	
巻 頭 言	1
お知らせ	2
重点事業へのアプローチ	3
会 務	4～10
理事会のうごき	11～12
総務厚生部	13
渉 外	14
事業推進部	15～19
母校だより	20～23
支部のうごき	24～40
クラス会だより	41～43
OB会・グループ・サークルだより	44～47
すいどうばし	48～52
庶務日誌	53～54
追 悼	55～56
逝去会員	56～57
投稿規定	58
へんしゅうこうき	59

表紙写真の説明

- ・若手会員との連携「新進会員のつどい」ご案内
- ・「夏の日の思い出」日時：2016年8月29日
撮影場所：北海道滝川市石狩川河川敷
平成7年卒 内田 禎子先生 撮影
- ・TDC アカデミア2016 卒後研修ベーシックセミナー
「こんな患者さんが来院したら・・・」
～何を診て、何を考え、何をするか～
- ・第44回同窓会主催全国ゴルフ大会が開催された
埼玉県武蔵丘ゴルフコース
- ・TDC アカデミア2016 臨床セミナー
「明日からの臨床に活かせる歯の移植・再植」
- ・「ヨット」日時：2016年8月19日
撮影場所：シアトル ブレイクアイランドにて
平成10年卒 京橋支部 横田 東生先生 撮影

ふるさと自慢 ～私のお気に入り～

人情の街 足立

東京都足立区





最後は北千住に戻って反省会がてら飲み直しをしています。若者が増え新しい店も増え平日でも混んで入れないお店もありますが、こんな路地裏のこんな三階に…こんな住宅地に…と、千住で開業している支部会員がお店を発掘してくれるので、とても助かります。もう少し先に行くと厄除けで有名な西新井大師もありますし、もうすぐ女子医大第二病院が引っ越ししてくる予定の舎人もモノレー

ルが通り、大きな公園があり、毎日老若男女で賑わっています。東京駅から30分足らずですので、是非足をのばしていただいて、お参りをしたり、散策していただいて、帰りの食事にディープな北千住を散策して下さると嬉しいです。なお、写真撮影は支部会のホープかつ飲み横のマドンナ、J.F先生で、心から感謝いたします。（昭和60年卒 奥野圭子）

我が町足立区は東京23区の北に位置していて、松尾芭蕉「奥の細道」の起点（荒川区という説もありますが…）です。再開発によりルミネ、マルイが新たにできたり、東京電機大学が移転してきた影響もあり、街の中心である北千住は昨今、東京住みたい街ランキングのかなりの上に位置するようになり嬉しく思っています。

東武スカイツリーライン、常磐線、千代田線、つくばエクスプレスの乗り入れのある街ですから飲食店も多く、狭いエリアで一次会から三次会四次会まで楽しむことができ、この飲屋街の景色は全国でも数少ない雰囲気醸し出していると思います。

足立区歯科医師会館も北千住にありますし、支部会の開催もほぼ北千住。たまに遠出をしても結局



事業推進部事業の 継続と発展を目指して



副会長

早 速 晴 邦

本年1月より、事業推進部担当副会長を仰せつかりました。これまで宮地先生が長きにわたりお務めいただいた部署であり、そのあとを引き継いでの重責であり、身の引き締まる思いであります。

平成28年度・29年度の同窓会運営の重点項目の一つに「同窓会アカデミア構想による人材育成」があります。

これまでの伝統あるTDC研修セミナーを引き継ぎ、そのノウハウを十分発展した形での生涯研修プログラムということになります。

これまでに携わってこられた先人の方々に敬意を表したいと思います。

このため、事業推進部の事業の一つとしては、血脇イズムの精神に基づき、また、アカデミア構想に則り、社会的視野の広がりや明日からの診療をより高度なものとする、知識と技術の習得を目指すセミナーが開催されています。

その根底にあるのは、若手同窓の参加と連携を目

的にしているということは言うまでもありません。

通常行われているセミナーと比較して、内容が格段と充実しており、且つ費用が安価であります。

是非多くの同窓の皆様の参加をお願いいたします。

また、新しい試みとして、オンデマンド発信があり、現在のところどうしてもセミナーの会場が、東京ということになってしまいますので、会場が遠くて参加できない同窓のために、オンデマンドにより、学術等の情報を発信できるよう検討しておりますが、問題点もまだあり、十分な機能を発揮できていないのも事実であります。

これらの事業を推進するにあたっては、担当常任理事並びに学術委員会委員の先生方の献身的なご努力で成り立っていることを忘れてはなりません。

事業推進部のもう一つの柱として、社会保障制度研究委員会があります。

研究するテーマが大きく、苦戦をしているところではありますが、我々が直結する医療保険制度も含めて、社会保障の将来を考える部門でありますので、大学に籍をおかれている先生にも貴重なご意見・ご助言をいただきながら、じっくりと進めてまいりたいと考えております。

事業推進部としては、これまでの執行部で行われてきた事業を継続し、さらなる発展・向上を目指してまいりたいと考えております。会員の皆様の貴重なご意見・ご要望をお待ちしております。

11月20日(日)には、評議員会並びに本年より新しい試みとしての都道府県代表者会の同日開催が予定されています。

都道府県代表者会は昨年の評議員会にてお認めいただき、新たな事業として行うわけであり、未知数のところではありますが、評議員会ではお伝えできない各都道府県の支部長に対し、開催することとしております。

各支部においてのご意見・ご要望を執行部として、真摯に受け止めこれからの会務に反映してまいりたいと考えておりますので、忌憚のないご意見をいただけるよう支部長の先生には、お願いいたします。

最後に、本年8月・9月にはブラジルのリオデジャネイロにおいて、オリンピック・パラリンピックが開催され、当初心配していた施設の問題およびテロの心配もありましたが、無事終了しホッとしております。日本のアスリートの皆様の大活躍により、国民は若人から夢と感動と勇気をもらいました。次は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックとなるわけで、国民一人一人が一丸となって参加し、準備していかなくてはと考えます。

我々歯科界および同窓会においても何かお手伝いできないものか、待っているのではなく、積極的に参加してゆくことが、必要ではないかと考えている今日この頃です。

お知らせ

平成28年熊本地震 被災同窓会会員への「支援金」について

東京歯科大学同窓会会長 矢崎 秀昭

同窓会会報の6月号（および同窓会HP）にて、全国の東京歯科大学同窓会会員の皆様に、熊本地震により被災された同窓会会員への「お見舞い支援金」をお願いさせていただきました。これまでに多くの会員の方々から、「支援金」が届いております。誠にありがとうございます。

同窓会事務局に設置させていただいております「支援金箱」の中を含め、「第1回支援金」として、7月29日（金）に熊本県支部に、送金させていただきました。被災された会員の方々への支援金の募集は、11月末まで受け付けております。引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

三菱東京UFJ銀行 神保町支店

店番：013

口座番号（普通）：0932775

トウシドウソウクマモトジシンシエンキングチ

カイチョウ ヤサキ ヒデアキ

口座名：東歯同窓熊本地震支援金口 会長 矢崎 秀昭

理事会より

- 平成28年度の「評議員会」および「都道府県代表者会」の会場が、母校のご好意により「東京歯科大学水道橋校舎本館13階」に変更になりました。ご出席の先生方はお間違えのないようお願いいたします。
また、「評議員会」の傍聴（発言等はありません）をご希望の会員は、準備の都合もございますので、11月11日（金）までに、事務局（03-5275-1761）にご連絡ください。
- 既に、同窓会創立120周年記念誌がお手元に届いていると思います。届いていない会員がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。

同窓会事業・行事

- 第4回新進会員のつどい
と き 平成28年11月3日（木・祝）
ところ 東京歯科大学水道橋校舎本館13階
- 平成28年度東京歯科大学同窓会評議員会および都道府県代表者会
と き 平成28年11月20日（日）
ところ 東京歯科大学水道橋校舎本館13階
- TDC アカデミア2016
・ 卒後研修 ・ 医療教養（2月号6ページ参照）

母校関係行事・案内

- 平成28年度東京歯科大学入学案内が母校だよりに掲載されております。詳細は20～22ページをご覧ください。

重点事業へのアプローチ

若手会員との連携 「新進会員のつどい」ご案内

この度、第4回新進会員のつどいを開催することとなりました。委員長を務めさせていただきます石川宗理です。新進会員は卒後5年目までの先生方により構成されております。この制度は、若い先生方に同窓会についてより知ってもらい、参加しやすいように作られました。今回のつどいでは、歴代5年間の学年主任を担当していただいた教授にお話を頂ける運びになりました。卒業してから月日は流れ、新進会員の中でも母校に残っている先生、開業医や外部の機関に勤める先生、様々だと思います。日常の中で、学生時代の頃とは物事の見え方や考え方が変わってきたかと思います。その中で、今一度ともに勉強や部活に励んだ仲間や、先輩・後輩と同じテーブルでお世話になった先生の話をお聴くというのは、懐かしいのはもちろんのこと、今なら昔に比べ聞いた話に対する感じが少し違うと思います。また、各学年主任の先生も皆さまが学生時代には話せなかったこともたくさんあると思います。ご多忙の中にも関わらず、5人の教授が一堂に会し、講演をしていただくという非常に貴重な機会だと思います。また、ささやかではありますが懇親会も開催させていただきます。久々に顔を合わせる友人もたくさんいるかと思います。懇親会を足掛かりとして、後席で話に花を咲かせるのも一興かと思っております。今年度も新進会員の先生はもちろんのこと、そうでない学生やOBの先生方もぜひご参加ください。参加料は無料、当日参加もOKです。当日お会いできることを楽しみにしております。

実行委員長 石川宗理

第4回
新進会員のつどい

Prof. SHIBAJARA
Prof. YAJIMA
Prof. INOUE
Prof. SUEISHI
Prof. ABE

歯科医師になった君たちへ
～学生時代には伝えられなかったこと～

参加費
無料

2016.11.3
12:00～(懇親会 16:15～)

【講演会】
東京歯科大学 水道橋校舎 本館 13 階
【懇親会】
東京歯科大学 水道橋校舎 南棟 2 階

〒113-8549 東京都文京区水道1-10-1
TEL 03-3822-3111
FAX 03-3822-3110
E-MAIL koushinkai@dent.tus.ac.jp

新進会員のつどい 実行委員会メンバー

石川宗理, 岡嶋怜奈 (平成24年卒)
木村基善, 山田 祥 (平成25年卒)
田中亜生, 橋口あやこ (平成26年卒)
大村雄介, 鷺尾沙裕里 (平成27年卒)
谷口修一郎, 石 彩記子
深澤俊也 (平成28年卒)



会 務

東京歯科大学同窓会 平成28年度評議員会日程

1. 日 時 平成28年11月20日（日）
2. 会 場 東京歯科大学水道橋校舎本館13階
東京都千代田区三崎町2-9-18
3. 日 程

区 分	時 間
評 議 員 会	午後1時00分～午後5時30分予定
懇 親 会	評議員会終了後



最寄りの駅からの案内図

1. 開会の辞

1. 叙勲、褒章受章者顕彰式

1. 点 呼

1. 会 長 挨 拶

1. 来 賓 挨 拶

1. 議長、副議長選出

1. 議事録署名人

1. 黙 禱

1. 東京歯科大学の現況報告

1. 報 告

- (1) 平成28年度 会務報告

- (2) 平成28年度 会計現況報告

1. 議 事

第1号議案 名誉会員の推薦（推戴式）

第2号議案 共済規程の一部改正（第6条第3項の追加）

第3号議案 平成27年度 経常部収支決算

第4号議案 平成27年度 特別会計収支決算
（高山・血脇記念同窓会基金、共済基金、名簿積立金、退職積立金、同窓会創立120周年記念事業積立金）

第5号議案 平成27年度 卒後研修セミナー、卒後研修セミナー積立金収支決算

第6号議案 平成27年度 時局対策費積立金会計収支決算

第7号議案 平成27年度 財産目録
（監査報告）

第8号議案 平成29年度 事業計画

第9号議案 平成29年度 入会金および会費
（若手の会員（卒後6年目から10年目）の会費減額）

第10号議案 平成29年度 経常部収支予算

第11号議案 平成29年度 共済負担金

第12号議案 平成29年度 特別会計収支予算①
（高山・血脇記念同窓会基金（母校への寄付））

第13号議案 平成29年度 特別会計収支予算②
（共済基金、名簿積立金、退職積立金）

第14号議案 平成28年度 卒後研修セミナー、卒後研修セミナー積立金収支予算

第15号議案 平成28年度 時局対策費積立金会計収支予算

1. 協 議

- (1) 共済制度について

- (2) その他

1. 閉会の辞

評議員会の傍聴を希望する会員は、11月11日（金）までに事務局までご連絡ください。

平成28年度 学年代表者会開催

平成28年7月24日（日）午後1時より東京歯科大学水道橋校舎新館11階第1講義室で、「平成28年度学年代表者会」（東京歯科大学後援）が開催されました。74学年のうち、53期（いづみ会 昭和23年卒）の中久喜 喬先生から121期（一伸会 平成28年卒）の谷口修一朗先生まで、60学年の代表者60名と来賓5名、同窓会役員19名の総勢84名の先生方の出席を得て、中島信也総務担当常任理事の進行のもと開始されました。

財部正治副会長の開会の言葉に続き矢崎秀昭同窓会会長が挨拶に立ちました。

「同窓会創立120周年記念行事が同窓の先生方のご協力により成功裏に終了しました。特に昨年11月29日に開催された同窓会創立120周年記念式典・講演会・祝賀会には約800名のご参加をいただき、極めて盛大に挙行されました。ご参加の皆様大変ご好評をいただきました。これも血脇イズムを基にした学年代表者の皆様をはじめとする同窓の先生方の熱い思いとご支援の賜物です。誠にありがとうございました。

本日の会では各学年の代表者、大学のご来賓、同窓会役員が一堂

に会し有意義な交流ができることは大変喜ばしいことです。大学の水道橋移転の事業がほぼ終了し、さらなる設備の充実が進められている現在、同窓会としてもこれまで以上の支援を行ってまいりますので代表者の皆さんも各学年の会員にお伝えしてご協力を呼び掛けていただきたいと思います。

若手会員の同窓会離れを食い止めるため、大学のご協力を得て準会員に対する同窓会の説明や同窓会報の配付、女性会員に対する事業の推進を図るため、女性会員活動推進委員会（JKS）を設立し働きかけを行っております。ご理解とバックアップをお願いします。」との挨拶がありました。

次に来賓代表として井出吉信学長からご挨拶をいただきました。

「大学の近況、情報等を同窓の方々にお伝えするため、大学主催のクラス会懇談会を10年前に企画いたしました。5年前から同窓会と学年代表者会を共同企画として参りました。

近年同窓会と大学がより密接に各種運営についてお話を致すようになったことから今年度より学年代表者会は同窓会主催で開催して頂くことに成りました。宜しくお

願い致します。」とご挨拶されました。

来賓・出席者の紹介に続いて報告に移りました。

1. 報告

1) 大学より

(1) 大学報告

井出吉信学長より大学報告が行われ、本年6月からの大学の新人事が紹介されました。

「副学長には、法歯学・法人類学の橋本正次教授と一戸達也歯科麻酔学教授、水道橋病院院長には矢島安朝教授、千葉病院院長には一戸達也副学長併任、大学院研究科長には、櫻井 薫老年補綴学教授が就任した。西棟が3月竣工し保存科診察室、手術室、技工室、衛生士学生の実習室が整備された。

学生の男女比がほぼ同等になり、それに対応すべく体制を整えつつある。元放射線科で勤務していた湖城 麗先生を教養科目の教員として採用し、香港大学から初めての女性歯科医の教授である後藤多津子先生を放射線科主任教授として迎え入れ、2名の女性教員を増員した。各学年の授業においても、OBの先生方に実習、授



久保先生



小林先生



森岡先生

業に積極的に参加して頂き大変感謝している。将来の人口構成比の変化により、有病高齢者の患者が増加することが予想され、これに対応できる歯科医を養成する教育カリキュラムの改定と実践を行っている。特に市川病院にスキルスラボを新設し、他業種との連携を強化することを目指している。国試対策のアップデートはさらに重要となっており、他校も国試対策を強化しているため本校も一層努力をしている所である。

より良い学生に入学していただくため、オープンキャンパスを開催しているが、さらに志ある受験生のご紹介をお願いしたい。

財務状況について昨年度は黒字決算であったが、今年度は赤字予算となっている。特に千葉病院の赤字削減を目標に、一戸病院長を筆頭に状況改善のため取り組んでいただいている。

近年は私立大学研究ブランディング・私立大学等改革支援事業の助成を得るためには、詳細な評価基準が導入された研究体制の構築、大学学会の活動強化、地元医師会・歯科医師会等との連携の強化、学外からの評価の重要性、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの確立と実践、卒業後の生涯教育の実践が重要視される。」

(2) 病院報告

矢島安朝水道橋病院長より病院報告が行われました。

「2月に病院エントランスの拡充が終了し、待ち時間についての苦情が半分になった。西棟完成により、1階にラウンジが入り、2階に保存科診療室、3階に中央技工室およびシミュレーション室、4階に手術室、5階に衛生短大の実習室が入る。本館3階の矯正科診療室の改装等が進み、来年の3月には水道橋病院の改装が終了する。水道橋移転に伴う懸念として、病院収入の減少があったが、増収を達成した。来年度は改修工事のため2カ月間の病棟閉鎖が予定されているが、千葉病院と連携して患者さんにご迷惑がかからないよう対応するので、さらなるご協力をいただきたい。」

(3) その他

①石井拓男法人主事より東京歯科大学短期大学歯科衛生学科（2017年4月開学予定で設置認可申請中）について説明がありました。

「短期大学のパンフレットおよび大学のホームページのオープンキャンパスの予定を参考に、ぜひ申し込みをしていただきたい。6月に開催したオープンキャンパスには約200名の参加者があり、東京歯科大学のブランド力は非常に

大きいと感じた。

カリキュラムの特徴として、市川総合病院と連携した多職種連携プログラムを他校に先駆けて実施する。本館校舎14階に教室がほぼ完成しており、西棟5階には実習室も整備が進んでいる。

順調に推移すれば、8月末には文科省の認可が得られるのではないかと考えている。」

②大学への事前質問に移り、井出学長より「セキュリティ対策については患者さんとクライアントの区域を分けてIDカードを設定しており、さらに対策を検討している。千葉キャンパスについては5000坪をスーパーに貸与し、賃貸収入を見込んでいる。クラブ関係の施設の充実を図り、千葉病院については一戸副学長が病院長として就任して赤字の縮小を目指し、法人を主体とし数年を目途に具体的なプランを模索する。水道橋キャンパスの改築については次世代の課題となる」との回答がありました。

2) 同窓会会務報告

白井文規専務理事より同窓会会務報告が行われました。

「熊本地震における同窓の被害状況の把握、同窓会報6月号およびHPにて被災した同窓に対する支援の呼びかけ、昨年の評議員会



寺田先生



湯澤先生



西山先生

での評議員数の改定，都道府県代表者会の設置，矢崎会長の再任等が議決された。

新矢崎執行部発足と本年度の重点項目の決定，支部加入会員の減少特に都市部の加入率の低下，平成卒や女性の会員の未加入率の高さ，これに対応する施策の実施，具体的には新進会員のつどい（11月3日開催予定）や女性会員活動推進委員会（JKS）の活動，新卒業生，準会員への働きかけ，クラス会開催の後援を行っている。その他にも，学術講演会のオンデマンド配信の推進，昨年11月29日の同窓会創立120周年記念式典・講演会・祝賀会には793名もの参加者を得て，素晴らしい祝典となった。大学とのより緊密な連携を推進するためにも新たに西棟建設への寄付のお願いを各クラス会で会員に呼び掛けていただきたい。」

3) 女性会員活動推進委員会(JKS) 報告

高野博子常任理事より女性会員活動推進委員会報告が行われました。

「女性会員活動推進委員会の目的は女性会員の支部加入率の向上と活性化にある。活動としては，参加しやすい生涯研修によるスキルアップと人材育成，交流活性化を図る。さらに様々なネットワー

クの構築，加入状況の把握，若手女性会員からの聞き取りを行ってゆく。」

4) 質 問

事前質問) 久保浩太郎先生

(平成14年卒・リーベン会)

学術研修の地方開催を考慮してほしい。

回答) 木暮隆司常任理事

マンパワー及び経費の関係で実現していないが，地元の協力があればぜひ開催を考えたい。HP上ではドクターブックの協力を得て，一部ながらビデオオンデマンドで視聴できるので活用していただきたい。

質問) 小林 顕先生

(昭和56年卒・水公会)

支部加入の定義および支部未加入の会員の名簿の支部通知について

回答) 臼井専務理事

会員本人の意思により勤務地あるいは住所地に加入していただく。支部からの要請があれば速やかに支部未加入の会員のデータを報告する。

要望) 森岡俊介先生

(昭和47年卒・七十七期会)

逝去報告・黙祷を学年代表者会で行っていただきたい。

新進会員の会費徴収は本部がすべきではないか。

回答) 臼井専務理事

要望としてうけたまわった。会員の逝去については，支部からの報告があり次第，HPに掲載している。会費については周知をし，新進会員に限らず会費の督促を行っている。

質問) 寺田仁志先生

(昭和63年卒・新葉会)

出張旅費について遠方の方には考慮をいただきたい。

回答) 臼井専務理事

執行部で検討する。

質問) 湯澤邦裕先生

(昭和60年卒・三春会)

衛生士短大のパンフレットをどちらに請求すればよいか，また女子限定なのか。

回答) 石井拓男法人主事

大学HPまたは短期大学設置準備室(03-6380-9071)にお問い合わせいただきたい。

将来的には別であるが，現時点では女子に限定したい。

質問) 西山 潔先生

(昭和57年卒・黎明会)

訪問診療・介護についての教育はどうなっているのか。

回答) 井出吉信学長

千葉病院に訪問診療車を2台備え，訪問診療・介護現場での学生教育を行っている。口腔健康科学講座の中に障害者歯科・摂食嚥下リハビリテーション研究室を開設



丹野先生



席田先生



谷口先生



代表者の先生方



来賓の先生方

し、他大学に先行して市川総合病院も活用し、チーム医療教育を推進している。

2. 協 議

1) クラス会の組織作りについて
中島信也総務担当常任理事より、「特に若い会員の組織率が低下しており現在はまだ活動が維持されているが、20年後には多少不安がある。クラス会単位の組織作りが加入率の向上にどのようにつながっていくかについて意見をいただきたく議題として提案した」との説明がありました。

丹野 研先生

(昭和39年卒・十二期会)

会員の減少が進んでいるが、クラス会は毎年開催している。

寺田仁志先生

(昭和63年卒・新葉会)

クラス会で連絡が取れるのが130名ほど毎年30~50名の参加がある。同窓事業の話題はあまり出ない。個人的には現在都歯の理事をしているが、同窓会での学術委員や常任理事の経験が大変役に

立っており、若い先生方のスキルアップのためにもぜひクラス会で誘い合って積極的に同窓会活動に参加していただきたい。

森岡俊介先生

(昭和47年卒・七十七期会)

クラス会の良いところは、最近の大震災の時に仲間に対する援助が迅速に行える。大学の教授等になっており、リーズナブルに講演が聞ける。若い先生方もクラス会を充実して活用いただきたい。

梶田克巨先生

(昭和44年卒・福祉会)

卒業以前からクラス会内で地方ごとの組織づくりを始めており、現在も活発に活動を続けている。若い先生方もクラス会内の具体的な組織づくりを同窓会からもっと指導すべきではないか。

谷口修一郎先生

(平成28年卒・一伸会)

初めて参加したが伝統を強く感じ、先輩方からの教えをどのように後輩に継承していけばよいかを同窓会の中で考えていきたい。

矢崎秀昭会長

多くの意見をいただきありがと

うございました。最近の世代ではクラス会がほとんど開かれていないようで、SNS等を活用してぜひ開催していただきたい。クラス会活動を活発化し、同窓会とのより強い連携を図っていただきたい。本日はありがとうございました。

閉会の辞を澁谷國男副会長が「盛りだくさんの内容を平成28年卒の谷口修一郎先生に見事にまもっていただき、ありがとうございました。続きは懇親会で議論をお願いします。」との挨拶で終了しました。

学年代表者会終了後、この度完成した西棟1階ラウンジにて懇親会が開催されました。

早速晴邦副会長の開会の辞、一戸達也副学長、宮地建夫顧問の挨拶に続き大山萬夫顧問の乾杯を合図に、各学年の代表者が親しく親交を温めました。最後に富山雅史副会長の閉会の辞により会を終了しました。

(広報委員会 記)



中島常任理事



財部副会長



矢崎会長



井出学長



矢島水道橋病院長



石井法人主事



一戸副学長



白井専務理事



高野常任理事



木暮常任理事



澁谷副会長



佐藤常任理事



第63回全国歯科大学同窓・校友会懇話会 開催（7月2日）



森原鹿児島県歯会会長を囲んで



「全歯懇」は、全国29校（同窓会・校友会は28）の同窓会、校友会の集まりで、昭和53年から始まり（当初は年2回、平成16年からは年1回開催）、今年の第63回は、鹿児島市の「城山観光ホテル」にて、鹿児島大学歯学部同窓会の当番で開催されました。

来賓挨拶では、堀 憲郎日歯会長他に加え、鹿児島県歯会長の森原久樹先生（S43卒）からも、鹿児島のお店で「お酒」と注文すると焼酎が出て来る事と、西郷さんの悪口？を言うと、請求が高くなるのお話でした。全国から全ての同窓会、校友会から約140名の役員等（当会からは、矢崎秀昭会長・臼井文規専務理事・宮地建夫顧問）が集まり、報告（矢崎

会長からは、昨年の同窓会創立120周年記念式典・講演会・祝賀会への参加のお礼）や協議を行いました。

今年は、「地域医療における人材育成と展開」をテーマに、筑波大学教授の前野哲博先生と福岡歯科大学客員教授の樋口勝規先生の講演がありました。

ホテルの庭で記念写真撮影後、懇親会が開催され、日歯連盟の高橋英登先生も参加されました。また、例年と違い、当番校の発案で、地区（鹿児島）の各同窓会の支部長等も参加してほしいとの事で、当会からも、吉嶺 光鹿児島県支部長（S50卒）と橋口哲彦参与（鹿児島市歯会長・S48卒）が出席し、有意義な会となりました。

次回（来年）は、岡山大学歯学部同窓会の当番で開催されます。

懇親会では、普段は飲めない、ブランド焼酎（森伊蔵や魔王等）が置いてあり、「お酒」に酔いしました。多くの他の同窓会の先生から、昨年の我同窓会の創立120周年記念事業に対し、お褒めの言葉が聴かれました。特に、参加した先生からは、祝賀会で流された「7分で綴る同窓会120年の歴史」は、是非、全国の歯科医師および歯科大の学生にお見せしたいとお話でした。まだ、ご覧になっていない方は、同窓会HPでどなたでもアクセスできます。

(http://tdc-alumni.jp/tdca_120th_anniversary/)



理事会のうごき

第3回理事会

平成28年5月21日（土）午後2時30分

於 本館5階特別会議室

出席 33名

議長 矢崎会長

会長挨拶

本年度春の叙勲で同窓より12名の先生が受章されたことに対し、心よりお喜びを申し上げます。本年度も半年が過ぎ、評議員会・都道府県代表者会に向け、各位の更なる活躍を期待している。

母校は、血脇記念ホール・西棟建設に対する同窓からの寄付に対し末永く記録に残すため、名盤を作製し西棟に掲載することになっている。それに関連して会報6月号に再度寄付者の名簿を掲載する。大学にとって西棟は臨床教育上大変重要なものである。建設費の高騰もあり、更なる協力を同窓に願っていききたい。

熊本は地震から1カ月たったが、まだ強い余震があるようだ。診療は再開できたとしても、患者さんが被災して通院できないこともあるように聞いている。同窓会としては既に初期復興対策費、共済金を送金し、支援金の募集を開始した。

7月に参議院議員選挙があるが、昨年来の日歯連の問題もあり、今回は歯科界としての統一候補を政権与党より出せない。一部他校同窓会では現職の野党議員を候補者として押す動きが見られるが、東歯同窓に2名の与党国会議員がいることも鑑みて、今回は日歯連の推薦する候補を推していきたいと考える。それぞれの地域の事情もあると思うが、歯科界の将来を考えて同窓会も方向性を見定めて行きたい。

黙 禱

青森県支部・小泉 仁氏はじめ8名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

会務報告ならびに承認

1) 平成28年4月28日から12月22日までの日程を報告。

2) 各部報告

(1) 総務・厚生部：①会費、共済負担金納入免除願いが1件提出され、受理した旨の報告。②地域支部連合会会長名簿を配付、報告。③支部長名簿を配付、報告。④逝去会員について、規定により弔慰共済金を支給した旨の報告。⑤平成28年春の叙勲・褒章受章者12名報告。⑥会員からのシェーデル処分に対する問い合わせについて報告。⑦母校「水道橋校舎施設設備整備資金寄付金」申込み状況報告。⑧会務運営協議会報告。⑨新進会員のつどい実行委員会報告。⑩女性会員活動推進委員会報告。

(2) 会計部：①地域支部連合会学術講演会助成金の支出について1件報告。②平成28年度4月末現在現況報告。

(3) 渉外部：①渉外部委員会報告。

(4) 広報部：①広報部広報委員会報告。②同窓会HPアクセスレポート報告。

(5) 事業推進部：①学術委員会報告。②TDCアカデミア2016報告。

以上の会務報告について、全て承認。

協議事項

1) 平成28年熊本地震での会員被災に対する支援として時局対策費より初期復興対策費、共済金より罹災見舞金を支出し熊本県支部・河野支部長に送付、さらに支援金窓口を開設したことについて説明。承認。

2) 学年代表者会について今年は同窓会が主催、大学は後援となり、大学内で開催することを説明。承認。

3) 平成28年度評議員会・都道府県代表者会の内容について提案。協議のうへ細部は継続審議。

4) 支部加入促進費について名称を「地域支部連合会活動助成金」とすることを提案。協議の結果、承認。金額については各地域支部連合会一律とし

- ていることを確認。
- 5) 推薦会員入会における会則施行細則の改定について提案。共済規程変更が評議員会で承認されることを条件に承認。
 - 6) 推薦会員入会における共済規程の改定を本年度の評議員会に議案として提出する旨、提案。協議の結果、承認。なお評議員会で可決された後、関連する会則施行細則を合わせて改正することとする。
 - 7) 東京歯科大学同窓会会長賞表彰規約が現行の会長賞の内容と齟齬が生じているため、規約の改正を提案。承認。
 - 8) 同期会開催への支援に関する内規作成について提案。承認。
 - 9) 東京歯科大学同窓会旅費規程の改正案を提案。承認。平成28年5月21日改定・施行とする。
 - 10) 「女性会員活動推進委員会（JKS委員会）の支部担当者（仮称）」を各支部長に推薦依頼する旨の提案。承認。詳細は会長一任。
 - 11) 就業規則の変更に伴い、事務を円滑にするため、職員1名を主任に昇格したい旨提案。承認。

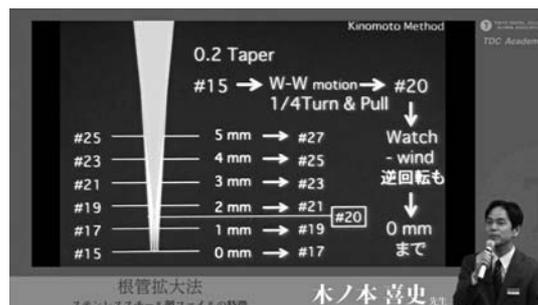
Doctorbook オンデマンド配信（学術セミナー） ご覧になりましたか！

本年度より学術事業の新しい試みとして、インターネットによるオンデマンド配信を開始しております。年間通して行われている同窓会学術セミナー講演の一部ではありますが、Doctorbook academy サイトからお伝えしております。これまでの学術事業はどうしても参加された先生方にしか活かされておらず、全国の会員の皆さんには届いておりませんでした。居ながらにして少しでも学術情報を広く会員に伝え、先生方の臨床に少しでも寄与できることを願っております。また、セミナーをまだ受講されていない先生方も同窓会セミナー参加への足掛かりとなればと思っております。

現在、昨年度行われました木ノ本喜史先生による『今こそ見直そう！あなたの根管治療』ご講演の一部が配信中です。計6コンテンツ1時間程の内容になっております。通常のセミナーと違い断片的な内容ではありますが、どのパートから視聴されてもご理解いただけるものとなっております。また、他のセミナーにおいても収録を行い、編集が完了ししだい配信して行く予定です。

同窓会 HP 上のオンデマンド配信を開きますと、そこから Doctorbook academy の東京歯科大学同窓会のサイトへの案内が記載されております。動画を見るためには Doctorbook への会員登録（会員規約をご確認下さい）が必要ですが、すべて無料で視聴できます。また、他のコンテンツも多数収録されておりますので、是非ご覧になって下さい。

https://academy.doctorbook.jp/societies/TDC_ALUMNI (学術担当理事 木暮隆司)



総務厚生部

第44回同窓会主催全国ゴルフ大会

9月22日（木）第44回同窓会主催ゴルフ大会が開催されました。各地に被害をもたらした台風16号も過ぎさり晴天を期待していましたが、朝5時に目覚まし時計に起こされると外はどしゃ降りでした。スタート時には晴れることを期待しながら、今日の目的地、埼玉県にある武蔵丘ゴルフコースへと車を走らせました。残念ながらスタート時間になっても雨は止まず、しとしと雨の中でのプレーとなりました。それでも、昭和25年卒から平成15年卒の先生まで133名の先生にご参加いただきました。雨の中でもパットやショットを練習する先生が多数おられ先生方の東菌がメラメラと燃え上がっていました。競技は新ペリア、ノータッチで行われました。コー



スは10月28日から女子プロ競技も行われる予定の難コースで、どの先生方も深いラフやグリーンに苦勞しておられ、全体的に成績は伸び悩んだようです。競技結果は、優勝：海野 智先生（埼玉県・S56）、ベストグロ：一般男子・町田 貴敏先生（板橋・H4）と松村 栄治先生（千葉県・H9）、シニア（65～69歳）・坂井 清先生（三重県・S47）、グランドシニア（70歳以上）・成田賢二先生（埼玉

県・S43）、女子・安藤公美先生（目黒・H15）でした。安藤先生は3年連続ベストグロ、町田先生は4年連続でベストグロを獲得されました。今年の参加賞は埼玉種畜場サイボクハムのパウンドケーキで美味しくいただきました。優勝者等のコメントは次号に掲載させていただきます。

写真は同窓会ホームページにアップしておりますのでぜひご覧ください。

大会当日の写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

成績表（新ペリアの部）

順位	プレイヤー名	コース1	コース2	GROSS	HDCP	NET	順位	プレイヤー名	コース1	コース2	GROSS	HDCP	NET
優勝	海野 智	42	45	87	18.0	69.0	16位	荻原 英生	45	45	90	15.6	74.4
準優勝	松村 栄治	44	40	84	14.4	69.6	17位	藤波 齊	44	52	96	21.6	74.4
3位	山崎 真司	44	41	85	14.4	70.6	18位	鈴木 育也	44	52	96	21.6	74.4
4位	町田 貴敏	42	42	84	13.2	70.8	19位	小野田知津子	56	52	108	33.6	74.4
5位	成田 賢二	42	40	82	10.8	71.2	20位	櫻井 善忠	54	60	114	39.6	74.4
6位	安藤 公美	36	39	75	3.6	71.4	21位	梅津 正喜	48	53	101	26.4	74.6
7位	坂井 清	39	41	80	8.4	71.6	22位	浅川 仁	43	45	88	13.2	74.8
8位	田部 和彦	49	54	103	31.2	71.8	23位	矢崎 秀昭	49	57	106	31.2	74.8
9位	村上 芳一	45	46	91	18.0	73.0	24位	林 正樹	51	55	106	31.2	74.8
10位	小野田 繁	47	50	97	24.0	73.0	25位	武藤 彰	46	47	93	18.0	75.0
11位	小杉 国武	40	43	83	9.6	73.4	26位	秋元 英典	46	47	93	18.0	75.0
12位	阿武野弘信	47	47	94	20.4	73.6	27位	洲崎 満	49	44	93	18.0	75.0
13位	高橋 治好	46	47	93	19.2	73.8	28位	中世 吉昭	49	50	99	24.0	75.0
14位	黒須 誠	50	49	99	25.2	73.8	29位	白井 文規	49	56	105	30.0	75.0
15位	宗本 匡由	39	52	91	16.8	74.2	30位	大久保清光	51	54	105	30.0	75.0

東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会



井出学長



日歯堀会長



日歯連盟高橋会長



日歯山崎理事



日歯小林常務理事



日歯高野常務理事

第181回日歯代議員会1日目の6月16日(木)の午後6時半より飯田橋のホテルメトロポリタンエドモント3階「千鳥」において東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会が開催されました。

出席者は、東歯関係の日歯役員3名、日歯代議員19名、都道府県歯会長5名、同窓会役員20名、同窓会渉外員会より2名、そしてご来賓として母校の井出吉信学長がご列席くださいました。

同窓会の佐々木眞澄常任理事の司会進行で、澁谷國男副会長が開会の辞を述べます。矢崎秀昭会長より、「日歯役員の方々は堀新会長のもとで頑張っている事と思う。ここに集まられている各地域において歯科医師会会長、日歯代議員に選ばれた方々に対して敬意を表したい。昨年、同窓会創立120周年祝賀事業を成功裡に終えられたことに感謝する。今後、血脇守之助先生の人材育成の精神を受け継ぎアカデミア構想を進め、将来的に歯科界のニューリーダーを同窓会より輩出できるように心より願っている。母校も国家試験

合格率等で輝かしい功績を残している。西棟も無事竣工したが、今後とも母校に対して同窓の益々の支援を是非ともお願いしたい。今夏の参議院議員選挙には歯科界より候補者を出せなかったが、我々には同窓に2名の与党国会議員を輩出している。よって我々は日歯連盟が推薦している与党の候補者を応援していきたい。今後とも同窓の2名の与党国会議員に対する応援を是非ともお願いしたい。今後とも同窓会に対する協力と支援を宜しくお願いしたい。」との挨拶がありました。

つづけて日歯の高野直久常務理事、小林慶太常務理事と山崎安仁理事よりご挨拶を頂戴しました。

この後出席者紹介を行い、つづけて同窓会の大山萬夫顧問のご発声で乾杯しました。

丁度ここで、ご来賓で母校の井出吉信学長が到着され、「西棟も無事竣工し、本年度中には本館の改修も終了する。教育も順調に進んでいる。今までの同窓の方々の協力と支援に感謝する。今後、放射線、障害者歯科等を充実させ

る課題もあり、同窓の更なる協力、支援をお願いしたい。」との来賓挨拶を頂戴しました。この後は会食をしながら会を進行しました。

途中でご来賓の日歯の堀 憲郎会長、村岡宜明専務理事、小玉剛常務理事と日歯連盟の高橋英登会長、家田隆弘理事長とがご来場されました。そして日歯の堀憲郎会長より「新執行部が始まったばかりであるが活発で充実した代議員会となった。今後とも協力を宜しくお願いしたい。」。つづけて日歯連盟の高橋英登会長より「連盟活動は診療報酬改定の財源確保が使命である。今回の改定では東歯同窓国会議員が大活躍したので今後とも応援してあげてほしい。今後連盟の刷新を図って参りたい。」とのご挨拶を頂戴しました。

この後、同窓会の会務報告を白井文規専務理事が行い、さらに若手を中心とした日歯代議員よりそれぞれ近況報告とご挨拶を頂きました。会は終始和やかな雰囲気の中進行し、最後に全員で校歌を斉唱し、財部正治同窓会副会長の閉会の挨拶で終了しました。

事業推進部

●卒研レポート●

TDC アカデミア 2016 卒後研修 ベーシックセミナー

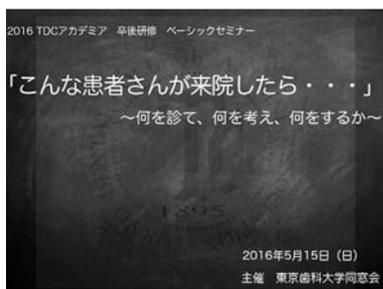
「こんな患者さんが来院したら・・・」

～何を診て，何を考え，何をするか～

5月15日（日）水道橋校舎本館13FにてTDC アカデミア 卒後研修 ベーシックセミナー「こんな患者さんが来院したら・・・」～何を診て，何を考え，何をするか～ が行われました。



研修医の先生を中心に多くの受講生が参加されました。



同窓会学術委員の山本雅通先生より，本セミナーの企画趣旨とこれから行うディスカッションの症例について説明されました。



各班に分かれてグループディスカッションを行いました。



学術委員による模擬ディスカッションが行われました。



受講生の声

今日は，お誘いいただき，本当に勉強になる1日でした。私たちのような，卒業してすぐの臨床に1人で悩んでいるようなDr.にとって気づきの多いセミナーだと感じます。

私たちより上のDr.のディスカッションが短い時間でも拝見することができて有意義でした。

最後に宮地建夫先生より本日のまとめとして，咬合崩壊を未然に防ぐために咬合三角を用いた4パターン^①の終末点の考え方^②についての実際の症例をまじえ解説していただきました。

（取材・広報部 横田東生）



何を診て…

口腔内・患者自身の情報収集し，問題点を把握し，患者との信頼関係を構築する。

何を考え…

時間的な背景を考慮し，有益な情報を選択し根拠のある診断・治療計画を立てる。

何をするか…

必要な技術を身につけ提供し，規格性のある資料を基に現在・過去・未来検証し続ける。

●卒研レポート●

TDC アカデミア 2016 臨床セミナー／エンドセミナー 「今こそ見直そう！あなたの根管治療2016 ～根管治療の最新知識と基本技術の習得2日間コース」

2016年5月28・29日に2016 TDC アカデミア 臨床セミナー／エンドセミナー「今こそ見直そう！あなたの根管治療2016～根管治療の最新知識と基本技術の習得2日間コース」が募集20名のところ申込者が多く26名に定員を増やして開催されました。講師は木ノ本喜史 大阪大学大学院歯学研究科臨床教授でした。

学術の相原委員の進行で本会の趣旨説明、講師および実習でインストラクターを務める阿部 修先生の紹介がありました。講師の木ノ本先生は大阪大学歯学部卒業後18年間大学で過ごし平成17年に大阪府の吹田市で開業したとのことでした。診療室にははじめからマイクロスコープを設置しているもののデザインを子供向けにしたファミリータイプのエンド専門医ではなくでエンドに詳しい先生というスタンスで診療されているとのことでした。ご自身の紹介に続き Kinomoto Endo の流れについて説明がありましたが、基本的に感染がなければ病変

はできないので、根管の感染の機会となる・う蝕の取り残し・根管開放・仮封の不良・汚染物の挿入・修復後の再感染について確認しながら処置を進めるとのことでした。そして、Per の原因が根充でなくコロナルリーケージといった補綴物に起因していることもあるため歯冠修復までが歯内療法と考えるべきとのことでした。次に歯の成長により変化していく根管の解剖と X 線の撮影法と写り方についての解説がありました。

その後は髓室開拓の話題となりましたが根管の形を考慮し・う蝕を除去する・過不足なく形成する・根の断面形態を意識する・コアの形成を意識する・髓床底を削らないことがポイントとのこと

でした。

午後は先ず手用ファイルを使用してプラスチック根管の根管形成を行いました。その後、手用ファイルの使用法、特に Watch-winding motion についての説明に続き、ニッケルチタンファイルの種類特徴、使用法および根管長測定および作業長の設定、多目的超音波装置の使用法についての講義の後、実習室に移動しました。

講師による FKG レイス、Wave One Gold、スプラソンのデモの後、髓室開拡大、根管拡大、根管洗浄についての実習になりました。木ノ本先生、阿部先生をはじめ学術委員の先生たちが細かく指導を行っていました。

その後の講義室はさまざまな除



去と感染根管治療の実際についてでしたが、クラウン除去ではワムキー、鑄造ポストコアの除去ではダブルドライバーテクニックとエアースケーラーと超音波ハンドピースによるダブルバイブレーション法の紹介がありました。GPおよび破折ファイル片除去の説明後、実際の症例を見せていただき、質疑応答の後、1日目は終了となりました。

2日目は9時より根管洗浄、根管充填、感染根管の勘所の講義で始まりました。根管洗浄の方法としては根管内にNaClOを満たした状態で超音波振動装置を使用するPUI (Passive ultrasonic irrigation) が有効で、根管の乾燥にはブローチ綿花を使用しないようにとのことでした。根管充填では側方加圧充填法と垂直加圧充填法にデータ上有意差はないので側方加圧充填法で充填後、ポスト孔付近でポイントを切断してそこで垂直に加圧する方法をしているとのことでした。感染根管治療では歯内

療法で感染源が残り易い場所を考慮して処置することが重要ですが、歯の状況によってはイスマス、フィンを完全に除去すると歯質がなくなってしまうので症例ごとに考え、根尖孔外バイオフィルムの症例などでは外科的なアプローチも必要であるとのことでした。

つぎは顕微鏡についてでしたが顕微鏡は見えるものが拡大され、実際の移動量と移動速度が異なって見えるため動きになれるのが難しく、斜め移動やミラー使用時はさらにわかり難くなるとのことでした。先ずは点を打って点ごとに触れる動きからはじめ、点と点をつなぐ動きを考えながら行っていくうちに体が覚えて自動化されて上手に使えるようになるとのことでした。専用の機器についてと見え方の特徴などの説明の後、実習室に移動しました。

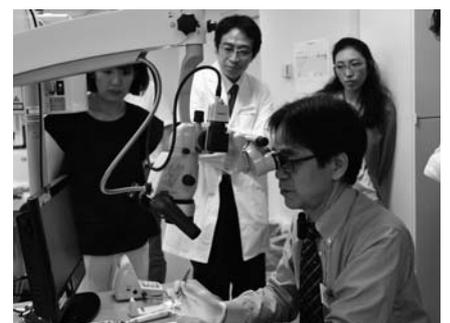
デモをはさんで根管拡大から根管充填の実習を行いました。途中のデモではファイルを折れ込ませた抜

去歯で顕微鏡と超音波機器を使用しての破折ファイル除去をリアルタイムで見ることができました。実習の最後に昨日と先ほど手用ステンレスファイルで根管形成したプラスチック根管を顕微鏡上で比較して評価をしていただきましたが、ほとんどの受講生が上達していました。

その後の講義は難治性感染根管治療へのアプローチという内容で、難治性の感染根管といっても細菌が原因であるので細菌がどこにいるか、またはどこから入ってくるかを考えて対応する必要があるとの内容でした。う蝕の取り残し、根管の見落とし、イスマスおよびフィンの清掃不良が多いとのことで、側枝のような機器の届かないところはentomb (墓に入れる) という考えで漏洩がないようにしっかり封鎖するとのことでした。まとめとしては、新たな感染を防ぎながら、侵入している感染源を取り除き、さらなる感染を防止するために封鎖するとのことでした。質疑応答の後、代表者に終了証が高橋潤一常任理事より手渡され2日間にわたるセミナーは終了となりました。

すぐに臨床に役立つ内容が盛り沢山のセミナーでした。

(取材・広報部 皆川雅彦)



● 卒研レポート ●

TDC アカデミア 2016 臨床セミナー／移植・再植セミナー 「明日からの臨床に活かせる歯の移植・再植」

7月10日（日）9時30分から16時30分まで新館6階にて開催されました。

募集人数を超える参加者があり盛況でした。講師の下地 勲先生は、1948年沖縄県のお生まれで東北大学歯学部のご卒業です。1975年に那覇市で開業され、現在は東京都国立市にて開業されております。東北大学歯学部臨床教授も務められていましたが、今は同大学の非常勤講師をされております。先生が移植・再植に力を注がれるようになったのは、簡単に歯が抜かれる現状に疑問を持ち、如何にして歯牙を保存していくか、そこに歯科医の価値を見出したからだと熱く語られておりました。最初の話はどのようなケースから始め、レベルアップしていけばよいかでした。手掛けやすい順序を記しておきます。

- 1：意図的再植（元の位置に戻す、これだけが再植で他は全て移植の範疇）
- 2：外科的挺出（歯槽窩内移植）
- 3：歯根未完成歯の抜歯窩への移植（歯根が1ミリ開いている歯）
- 4：抜歯窩への直後移植（生活歯はそのまま移植をし、その後に水酸化カルシウムを使用して根治）
- 5：治癒期の抜歯窩への移植（抜歯窩が狭く、難易度は高くなる）

6：無歯顎堤への移植

次にインプラントに対する利点と使い分けについて話されました。再植・移植は、歯根膜の存在、抜歯直後のほうが容易、若年者でも適応などで、インプラントは基本的に天然歯を守るためのものと言われていました。そして、再植・移植をより理解するために、歯根膜の発生、歯髄と象牙質の発生、歯根成長と歯周組織の発生など最低限必要な基礎的な話をされました。それは次に話された先生の再植・移植術式が基礎理論に基づいており基礎的事項を理解している事が重要だったからでした。しかし、それでもトラブルは起こります。先生はトラブルの診

断と対応についても丁寧に説明してくださいました。最後に臨床症例を見せていただき、大変参考になりました。58歳女性の出血が気になった症例では、白血病で亡くなられ患者さんを思い出され声を詰まらせておられました。先生对患者に対して真摯に向き合う姿勢が伝わってきました。質疑応答後、大きな拍手にて終講となりました。

講演を聞いた平成13年卒鈴木淳先生は、もっと時間をかけてお話が聞きたかった、自分の臨床に取り入れたい、また機会があれば聴講したい。と感想を述べていました。

（取材・広報部 西村哲雄）



鈴木 敦先生



● 学術委員会 ●

口腔保健オープン・フォーラム2016のご案内

本年度の口腔保健オープン・フォーラムでは、予防管理をテーマに開催いたします。予防を成功させるためには、まずは、患者さんの口腔の状態や生活をしっかりと読み取ること。そして、それらの情報を継続的に記録して、医療スタッフや患者さんと共有すること。さらに、科学的根拠を踏まえた予防管理をおこなっていくことが重要です。そこで、予防の核となる「診断」、「予防システム」、「エビデンス」のそれぞれの視点からプレゼンターに話題提供していただき、参加者の皆さんでディスカッションを深めたいと思います。

テーマ：「予防の極意」：診断，エビデンス，予防システムの視点から

日時：11月27日（日） 13：00～16：00

定員：60名

場所：東京歯科大学 水道橋校舎南棟 6 F 会議室

参加費：無料

話題提供者紹介



演題：口腔を読む，生活を読む 三上直一郎（東京都・開業）
 主な著書 「歯肉を診る・歯肉を読む」（医歯薬出版，2014年）
 「口を診る・生活を読む」（医歯薬出版，2015年）
 「新装版ほくできちゃった」（医歯薬出版，2015年）



演題：診療記録と予防管理システム 杉山精一（千葉県・開業）
 主な著書 「患者さんと長くお付き合いできる歯科医院づくりのノウハウ28」
 （クインテッセンス出版，2011年）
 「リスクが読める！患者さんが動く！3年目からの歯科衛生士臨床」
 （クインテッセンス出版，2014年）



演題：エビデンスを知る 高柳篤史（埼玉県・開業）
 主な著書 「困った患者さんにどう活かす 診療室の行動科学」
 （クインテッセンス出版，2008年）
 「根拠を知ったらうまくいく！セルフケアの処方箋」（医歯薬出版，2009年）
 「モチベーションを上げる15のアドバイス」（クインテッセンス出版，2009年）

※セミナーのご案内は同窓会 HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) にも掲載されております。Webからの申し込みもできます。また、フォーラムへのお申込みは下記の申込用紙をコピーしてFAXでも申し込いただけます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859	
口腔保健オープン・フォーラム 予防の極意 ～診断、エビデンス、予防システムの視点から～	
ふりがな	歯科医師（ <input type="checkbox"/> ） 大学 <input type="checkbox"/> 年卒 <input type="checkbox"/>
ご氏名	コ・デンタルスタッフ <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
ご連絡先	自宅・勤務先（どちらかに○をしてください）
住所	〒
TEL	FAX
ご勤務先名	

*満席の場合のみご連絡いたします。

母校だより

平成29年度東京歯科大学入学案内 (東京歯科大学入試要項より)

1. 入試日程一覧 (全募集人員128名：編入学除く)

入試制度	募集人員	出願期間 (期間内必着)	試験日	合格発表日	試験会場
編入学試験 A	若干名	平成28年10月1日 ～	平成28年 10月16日	平成28年 10月18日	東京歯科大学水道橋校舎本館
学士等特別選抜 A	若干名	平成28年10月11日			
推薦入学選考	約45名	平成28年10月31日 ～	平成28年 11月12日	平成28年 11月15日	
帰国子女・ 留学生特別選抜	若干名	平成28年11月8日			
一般入試 (I期)	約50名	平成28年12月16日 ～	平成29年 2月2日	平成29年 2月4日	東京会場： 東京歯科大学水道橋校舎本館 大阪会場： TKP新大阪ビジネスセンター 福岡会場： TKP博多駅前シティセンター
大学入試センター利用 試験 (I期)	13名	平成29年1月27日			
一般入試 (II期)	約15名	平成29年2月17日 ～ 平成29年3月3日	平成29年 3月11日	平成29年 3月14日	東京歯科大学水道橋校舎本館
大学入試センター利用 試験 (II期)	5名				
編入学試験 B	若干名				
学士等特別選抜 B	若干名				

※編入学試験 A・Bは、2年次に編入学

2. 出願資格

推薦入学選考 (一般公募制)

次の各条件を満たし、かつ高等学校長が責任をもって推薦する者。

1. 平成28年3月高等学校卒業または平成29年3月高等学校卒業見込の者。
2. 人物・性格ともに優れ、健康である者。
3. 入学を許可された場合、必ず本大学に入学することを確約できる者。

帰国子女・留学生特別選抜

次の各項のいずれかに該当する資格を有し、入学を許可された場合、日本語での授業を理解できる者。

1. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または平成29年3月31日までに修了見込の者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
2. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で平成29年3月31日までに18歳に達する者。
3. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で平成29年3月31日までに18歳に達する者。
4. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で平成29年3月31日までに18歳に達する者。

編入学試験 A・B, 学士等特別選抜 A・B 共通

次のいずれかを満たす者とする。

- ① 4年制大学卒業または平成29年3月卒業見込の者。
- ② 医療技術系短期大学を卒業した者または平成29年3月卒業見込の者。
※医療技術系短期大学とは、看護・歯科衛生・歯科技工・臨床検査・診療放射線・理学療法・作業療法・臨床工学・言語聴覚等の分野を履修する短期大学
- ③ 4年制大学に2年以上在学し、所定の単位を取得した者。
※所定の単位は、総単位数65単位以上とし、うち数学・物理学・化学・生物学に関する科目について合計16単位以上を必要単位数とする。

3. 試験内容

入試制度	選考内容・試験内容
推薦入学選考	(1) 小論文 (2) 小テスト〔外国語（英語）、数学、理科（物理・化学・生物から1科目選択）〕（出題範囲は一般入試（I期）に準ずる） (3) 面接
帰国子女・留学生特別選抜	
一般入試（I期）	(1) I期 学力試験（出題範囲は※1参照） ① 外国語（英語） ② 数学 ③ 理科（物理・化学・生物から1科目を選択） II期 学力試験
一般入試（II期）	① 外国語（英語） ② 数学・物理・化学・生物のうち1科目を選択 (2) 小論文 (3) 面接
大学入試センター利用試験（I期）	(1) 平成29年度大学入試センター試験の受験科目 外国語 「英語（リスニングを除く）」 数 学 「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ・数学B」の2科目 理 科 「物理基礎」、 「化学基礎」、 「生物基礎」から2科目 または「物理」、 「化学」、 「生物」から1科目 ※理科について、2科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する（「物理基礎」、 「化学基礎」、 「生物基礎」については選択した2科目の点数を1科目の得点として扱う）。 (2) 小論文 (3) 面接
大学入試センター利用試験（II期）	
編入学試験 A	(1) 小論文 (2) 小テスト（英語・数学・理科（物理・化学・生物）の基礎知識問題） (3) 面接（グループ面接・個人面接）
編入学試験 B	(1) 小論文 (2) 小テスト（英語・数学・理科（物理・化学・生物）の基礎知識問題） (3) 面接（グループ面接・個人面接）
学士等特別選抜 A	(1) 小論文 (2) 小テスト（英語・数学・理科（物理・化学・生物）の基礎知識問題） (3) 面接（個人面接）
学士等特別選抜 B	(1) 小論文 (2) 小テスト（英語・数学・理科（物理・化学・生物）の基礎知識問題） (3) 面接（個人面接）

※1 一般入試（Ⅰ期，Ⅱ期）学力試験出題範囲

- 外国語 英語：コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰ。ただし，実際に音声を使ったリスニングテストは行わない。
- 数 学 数学：数学Ⅰ（「(4)データの分析」を除く），数学Ⅱ，数学A，数学B（「(2)数列」と「(3)ベクトル」を範囲とする）
- 理 科 物理，化学，生物の3科目のうち1科目を試験場で選択する。
・物理：物理基礎，物理
・化学：化学基礎，化学
・生物：生物基礎，生物

4. 学納金（全入試制度共通）

入学金	600,000円（入学時のみ）
授業料	3,500,000円
歯学教育充実費	4,300,000円（入学時のみ）
施設維持費	1,000,000円
合計	9,400,000円

— 受験科目詳細・入学手続きその他詳細は「入試要項」をご覧ください —

（入試要項は，下記 web サイトから請求可能）

<http://www.tdc.ac.jp/college/applicants/index.html>

入試ガイダンス・オープンキャンパス開催される

去る8月6日（土）と28日（日）の両日，平成29年度の入学試験に向けた第2回および第3回の東京歯科大学入試ガイダンス・オープンキャンパスが開催された。

今年度は毎回，新館2階血脇記念ホールにて開催し，特に第3回は昨年度の参加者に匹敵する230名の来場者があり，非常に盛況であった。また，推薦入試問題の解説（全科目）や各入試科目のポイント説明も行われ，こちらも好評であった。

今後の入試ガイダンス・オープンキャンパスは12月17日（土）に開催予定となっている。





Dental Hygiene Tokyo Dental Junior
**東京歯科大学
短期大学
歯科衛生学科**
Department of

[日本で最も古い歯科大学]

東京歯科大学が作る 新しい短期大学

歯科領域はもとより、医療・介護分野での活躍が期待される「歯科衛生士」。東京歯科大学では、日本で最も古い歯科大学としての実績のもとに、社会のニーズに対応する新時代の歯科衛生士を養成する短期大学を新設します。

2017_年4_月 開学

信越地域支部連合会

去る7月2日(土)、新潟市岩室温泉「ゆもとや」に於いて今年度の同窓会信越地域支部連合会総会並びに新潟県支部総会が開催されました。来賓として富山雅史同窓会副会長、中島信也同窓会常任理事、母校より井出吉信学長、組織発生物学講座山本 仁教授をお迎えし、長野県支部18名、新潟県支部33名、合計51名のご出席を頂きました。

新潟県支部より山田潤造先生が議長、長野県中信支部より林健治先生が副議長に選出され、連合会会長、来賓の挨拶へと会は進行していきました。

阿部晴弘信越地域支部連合会会長の挨拶では、水道橋校舎西棟建設の寄付、同窓会会員の減少問題

などのお話を頂きました。

井出吉信学長からは、大学のご報告を頂きました。なかでも、高齢化社会に向けて全身疾患に対する教育等、国家試験合格率に留まらず一歩先を見据えた教育を行っているというお話は印象的でした。

続いて富山雅史同窓会副会長より、評議員会の現状、未入会員問題、アカデミアコースの紹介、ホームページの利用推進、西棟建設の同窓会支援などのお話を頂きました。

中島信也同窓会常任理事からは、熊本地震に対する同窓会支援、評議員会の運営状況、若手会員の支部加入率増加への取り組み、女性会員活性推進委員会の発

足などを、支部への連携・協力もふまえ、お話頂きました。

その後、庶務報告、物故会員への黙祷を捧げ、議事・協議に移り、次期は長野県上山田温泉での開催が承認され、総会は閉会いたしました。

総会終了後は、特別講演会と記念学術講演会が行われました。

特別講演会では、血脇守之助の調査を行った新潟県支部八百枝正樹先生より「血脇先生と三条・米北教校」の演題のもと、若き日の血脇先生の越後国三条町での足跡を講演して頂きました。

引き続き、組織発生物学講座山本仁教授より「基礎と臨床を繋ぐ研究!? 組織学・発生物学の動物実験からみえてくるもの」と題して記念



学術講演会が行われました。昨今話題の ips 細胞や再生医療のお話も交え、多様な動物実験により歯や歯周組織の形成などが解明されてきたことを講演して頂きました。

た。
記念撮影の後、懇親会に移りました。新潟県在住の15歳の全盲シンガーソングライター佐藤ひらりちゃんのミニコンサートで幕を開

け、終始和やかな雰囲気での交流を楽しみ、校歌斉唱の後、終宴となりました。

(平成9年卒・高田美由紀 記)

新潟県支部総会

信越地域支部連合会総会に先立ち行われた新潟県支部総会は、議

長選出の後、阿部晴弘支部長の挨拶にて開会となりました。来賓のご挨拶を頂き、庶務報告、会計報告、議事・協議に移り、次期は上

越地区で開催する案が承認され、広瀬 秀副支部長の閉会の辞にて閉会いたしました。

(平成9年卒・高田美由紀 記)

近畿地域支部連合会

近畿地域支部連合同窓会ゴルフコンペ

平成28年5月8日(日)、滋賀県にある蒲生ゴルフクラブにて近畿連合同窓会のゴルフコンペが開催されました。滋賀より5名、京都より3名、大阪より2名、兵庫より4名、和歌山より2名、計16名の先生方が参加してくださいました。当日はやや暑く感じられる程の快晴で、鳴き慣れたウグイスとまだ寝起きのような蝉の声を一緒に耳にすることができました。コースは赤松にセパレートされたフラットな丘陵コースでフェアウェイも広く、ストレスをあまり感じることなくラウンドを楽しめました。優勝は大阪府の山本勇一先生で、アウト44、イン40のトータル84、HDCP14.4、ネット69.6でした。ベストグロスには兵庫県の宗本匡由先生で、アウト39、イン41のトータル80でした。競技終了後、懇親会と結果発表、賞品授与が行われました。

当コンペでは、遠方からいらっしゃる先生が殆どですので前泊さ

れる方も多く、先日の夜には皆で夕食をとり楽しいひとときを過ごすことができます。今年はゴルフ倶楽部に併設されているホテルに宿泊し、夕食は「焼肉ねぎし」に繰り出し、おいしい焼き肉を堪能

しました。このように世代の異なる先生方もリラックスして楽しく過ごせるこのコンペに、いつも不思議な魅力を感じます。

近畿地区では毎年5月に各支部が持ち回りで担当しゴルフコンペ



を開催しておりますが、今年も去年に引き続き、11月23日(水, 祝)に開催される近畿連合同窓会にあわせその次の日の24日(木)にもゴルフコンペを開催することとなりました。今年の近畿連合同窓会は大阪府の担当ですが、コースは今のところ京都府の日清都カント

リークラブを予定しております。もし参加していただける先生がいらっしゃいましたら、各支部長や福祉担当理事、或いはゴルフ担当者にご連絡をお願い致します。平日ではありますが、木曜日が休診の先生方に多数ご参加いただければ、と思っております。

今回も参加していただいた先生方、並びにお忙しい中手配していただいた滋賀県支部の先生方から感謝いたします。ありがとうございました。

(大阪府支部広報
平成15年卒・高木祥広 記)

四国地域支部連合会

平成28年度総会学術講演会

平成28年5月28日(土)『ホテルグランドパレス徳島』で、午後2時より、支部長会を開催し、沖義一四国地域支部連合会会長、西川文雄高知県支部長、藤本清香川県支部長、松木建二愛媛県支部長、福崎博生徳島県支部長、そして矢崎秀昭会長と臼井文規専務理事の出席の下、昨年の評議員会で決定した都道府県代表者会・評議員の選出・支部加入促進費等について協議しました。

午後3時より、総会は、益井孝文先生の司会で、校歌斉唱、物故会員への黙祷、福崎徳島県支部長の挨拶で始まり、矢崎秀昭会長より母校水道橋校舎整備事業への寄付協力のお願、同窓会創立120周年記念事業へのお礼等をお話しされました。臼井専務理事より、本部会務報告、平成28年熊本地震の同窓会からの支援報告、評議員会報告、同窓会創立120周年記念事業報告の説明がありました。一戸達也副学長より、大学の

現況を詳細に報告頂きました。連合会会長沖 義一先生より支部長会の報告があり、四国地域支部連合会の評議員定数が2名になることが決まり、高知・徳島を合県にすることで愛媛、香川と会員数の均衡がとれ、順番に交代で評議員会と都道府県代表者会に出席することをご承認を頂きました。その後来年の総会の日程を協議し、次回当番の香川県藤本支部長より挨拶があり、総会は閉会しました。学術講演会は、母校口腔顎顔面



外科学講座柴原孝彦主任教授より、「今後の歯科医療人として知らなくてはならない口腔外科」と題して、ビスフォスフォネート関連顎骨壊死（BRONJ）・薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）について、骨粗鬆症の治療はもちろん予防のためにも骨吸収抑制薬などを投与されている高齢者や癌の病歴のあ

る患者が激増しており、抜歯難民の増加を防ぐために医科との医療連携が必要である事、舌神経が下顎智歯舌側歯頸部にみられる事があるので抜歯の際は、舌側は触らない、電気メスは使わない等、損傷を避ける配慮が必要である事、難治性歯肉炎は初期口腔癌と似ているので見逃してはならないもの

と述べられました。

記念写真撮影の後、懇親会は、木藤真由子先生の司会で、徳島県歯科医師会の森 秀司会長（大歯卒）をお招きして、沖連合会会長の乾杯の発声で開宴し、終始和やかな懇親の輪に包まれて行われました。

（昭和57年卒・福岡博生 記）

九州地域支部連合会

平成28年6月18日（土）、福岡市のホテルニューオータニ博多にて、九州地域の各県支部長会を開催しました。九州8県の支部長の他、同窓会本部から臼井文規専務理事、田部和彦九州地区理事にも出席していただきました。

臼井専務からは今後2年間の同窓会本部運営の重点項目について、詳しくお話していただきました。又熊本県の河野支部長からは、4月に多くの被害をもたらした「熊本地震」について、熊本県会員の被害状況や2カ月経過した現在の近況報告をしていただきました。これまでに経験したことがない大地震に被災され、日々の生活や診療に多大の影響が出ている会員への支援を各県で確認し、連合会からの見舞金を河野支部長へ手渡しました。あと連合会規約の一部改正についても協議しました。10月21日～23日には福岡で日本歯科医学会総会が開催され、又22日には九州歯科医学会・各同窓会も併催されるので、九州各県からの多数の参加も要請致しました。

懇親会は田部地区理事に乾杯のご発声をお願いし和やかにすすみました。今年還暦を迎えられた河野支部長、副島佐賀県支部長を謡三番でお祝い、最後は校歌斉唱で閉会となりました。

二次会はネオン輝く中洲の夜景を見ながら西中洲で、その後更に

三次会へと中洲に行かれた先生も。（昭和53年卒・永江健一 記）



神奈川県支部連合同窓会

8月7日（日）に、本年度の会員家族レクリエーションが行われた。今回は、西山 潔新会長のご意向で例年と趣旨を変えて日頃の“鈍ったからだにメンテナンスを”との意味合いで「ボクササイズ入門」と「夢を夢で終わらせない！」というテーマで、現役世界チャンピオンをお二人輩出している大橋ボクシングジムの大橋秀行会長に講演会を依頼した。

例年同様の猛暑の中、10名のボクササイズ参加者は大橋ジムに集合し、トレーニングウェアに着替えをすませた。当初1時間程度“軽く汗を流しましょう”と参加者全員が考えていたはずであったが、担当トレーナーの指示に従い、準備体操、簡単なボクシングの基本ステップやジャブ、ストレート打ちを教わった。と、突然、サービス精神旺盛なトレーナーから“今日はせっくなのでリングに上がりましょう！”という提案に不穏

な空気が漂い始めた。予定していなかったグローブをはめてサンドバック打ちを練習した後、訳もわからずリングイン。

“1分間スパーリングしましょう”とニコニコ顔で勧めるトレーナー！通常は1ラウンド3分なので、まだ軽く考えている参加者一同。カーンとゴングが鳴り勇んでスパーリングを開始すると10秒、20秒と経過するとともに大量の汗と呼吸が苦しく、足がもつれてもまだ50秒。“こんなに1分が長いなんて！”と感じたはず。指導していただいたトレーナーとの集合写真撮影後、講演会・懇親会会場のホテル横浜キャメロットジャパンに移動した。講演会から参加の会員・家族20名と合流し、大橋ジムから大橋秀行会長をはじめIBFライトフライ級チャンピオン八重樫東選手、WBOスーパーフライ級チャンピオン井上尚弥選手の計3名を招いて「夢を夢で終わ



らせない！」の講演会を開催した。いかに目標に向かってストイックにメンタルやフィジカルを鍛えるかなどと話していただき、会場からは減量法（ダイエット）やメンタルトレーニングについての質問があり、率直に話していただき、分野は違えど大変参考になった。なお両チャンピオンにはチャンピオンベルトを持参していただき、ずしりと重いチャンピオンベルトを持ち写真撮影の順番待ちとなった。

参加者からは今回の企画は“良かったよ”と声をかけていただき満足して解散となった。

（平成4年卒・佐久間啓文 記）



長野県連合会

平成28年度総会

平成28年9月3日、長野市のホテル国際21にて「平成28年度東京歯科大学同窓会 長野県連合会総会」及び記念講演会・懇親会が執り行われました。

まだ残暑も厳しい日々が続く中、多くの先生にご出席をいただきました。

当日はまず長野県連合総会が行われました。

連合会長青木篤敬先生のご挨拶の後、ご来賓として東京歯科大学同窓会副会長・澁谷國男先生、東京歯科大学学長(代理)・笠原正貴教授よりご祝辞をいただきました。

同窓会副会長の澁谷先生からは東京歯科大学同窓会の現状についてのお話をいただき、会の運営について熊本地震義援金活動につい

て等のご説明をしていただきました。

残念ながら井出吉信学長は都合によりご欠席となりましたが代理として笠原正貴教授より東京歯科大学の現状及び今後の展望についてのお話を頂きました。

その後、会務報告・会計報告・監査報告など議事も滞りなく進行し無事総会を終了することができ、笠原正貴教授による記念講演会が行われました。

「漢方薬の基礎知識と知ってみたいトピックス」

上記を演題として漢方・漢方薬についての基礎知識を学びました。

漢方が日本に伝わって来た歴史、漢方とは中国から伝わった伝統医学が日本流の発展を遂げたものであると云う事。



漢方薬とは複数の生薬から構成されており、心身全体の調子を整え複合的に病気に対応するという戦略を取ると云う事。

漢方薬の処方診断名によらず、患者の体質・疾患の増悪因子・臨床症状の違いによっていくつかのタイプに分けて処方されると云う事。

漢方薬にも副作用があると云う事。

などの漢方薬についての基礎知識に加え、我々一般歯科医師が臨



床で導入しやすく失敗の少ない漢方薬についても具体例を挙げつつ丁寧でわかりやすい講演をしてくださいました。

半夏瀉心湯は口内炎に、白虎加人参湯は口腔乾燥症に、立効散は鎮痛剤としてNSAIDsが使用できない時に、等々、漢方薬が身近でたいへん使い易いものだと云う

事。

とても興味深い講演で時間があっという間に過ぎてしまいました。

講演会後の懇親会では長野県歯科医師会会長・春日司郎先生、長野市歯科医師会会長(代理)・沢口通洋先生からもご挨拶をいただきました。

このように多くの先生方のご参加・ご協力をいただきまして、今年度の連合総会を無事に終える事が出来ました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

(平成7年卒・渡邊 裕 記)

山形県支部

平成28年度総会・創立90周年

平成28年4月9日(土)、ホテルメトロポリタン山形において定時総会が開催された。太田貴志副支部長の開会に始まり、物故会員慰霊、五十嵐 栄支部長の挨拶後、矢崎秀昭東京歯科大学同窓会会長より祝辞を、井出吉信東京歯科大学学長より祝辞と東京歯科大学の現状報告、二階堂雅彦東京歯科大学水道橋病院臨床教授より祝辞を頂戴した。続いて会員の表彰、平成28年歳祝、齋藤利明前支部長へ

感謝状贈呈が行われた。引き続き議長として沼澤孝人君が選出され、報告、議事が滞りなく承認され、小林千晃副支部長の閉会により総会を終了した。

その後、創立90周年記念特別講演会が二階堂臨床教授より「歯周病の歯列を守る－長期症例から学ぶこと－」と題して行われた。駆け出しの歯科医の頃に多様な姿を見せる歯周病患者に圧倒され、重度歯周炎の患者の進行を止められず歯を失ってゆく姿を目の当たり



にし、何も出来なかったご自身の経験。「歯周病を究めたい」と発起されアメリカへ留学、以来20余年経過を踏まえ、ご自身が現在行われている歯周治療を初診からの



治療経過を歯周病の機序なども加えて沢山の症例と共に講演いただいた。同窓外の歯科医師やスタッフの方の多くの参加もあり、盛況な講演会であった。

講演会終了後、永田秀昭山形県歯科医師会会長をお招きし記念撮

影、その後山形県支部創立90周年記念祝賀会が行われた。開会、支部長挨拶に続き矢崎同窓会会長、井出学長、永田形歯会長より祝辞を頂戴し東海林 修顧問の乾杯により宴が進められた。参加者は新しい大学の事や懐かし校舎や級友

などの話に皆楽しい時を過ごし素敵な90周年の記念品、校歌斉唱、万歳三唱を行い閉会となった。

(昭和62年卒・五十嵐 徹 記)

福島県支部

県支部総会並びに学術講演会が平成28年6月25日(土)午後1時よりいわきワシントンホテル椿山荘において開催された。同窓会本部より早速晴邦副会長、本大学より矢島安朝水道橋病院長をご来賓としてお迎えした。総会は、原英一副支部長の開会の言葉にはじまり、物故会員への弔意、黙祷の後、宍戸計一支部長の挨拶、新入会員の森田直登先生の紹介が行なわれた。次に副会長より評議員会報告、一般会務報告、重点課題として新しい同窓会員へのアプロー

チ、同窓会創立120周年記念事業として大学との連携について説明がありました。水道橋病院長より国家試験の合格率結果報告、水道橋校舎での学生の生活、授業などの現況報告がなされた。議事では、議長にいわき方部の渡邊重視会員が選出され進行を務めた。会計報告、年度事業計画について可決確定した。総会終了後は、学術講演会が開催された。会員の鳥取県で開業されている、あい・あだちデンタルクリニック院長 足立融先生より演題「超高齢社会にお

ける歯科の役割～診療室から地域まで～」の講演がありました。懇親会は、顧問椎木一雄会員の乾杯により始まり終始和やかに行われた。最後に高らかに校歌斉唱をした。福島県知事表彰 小汲三代太先生、文部科学大臣表彰 小汲喜郎先生にお祝いが贈られた。26日パイロネルソンCCにてゴルフコンペが開催された。昨日までの雨が心配されたが当日は回復し、会津方部石川伸一会員が優勝されました。

(昭和62年卒・荻原哲二 記)



群馬県支部

平成28年度 総会・学術講演会

7月3日(日)に平成28年度の群馬県同窓会 総会・学術講演会が、本年度は関東地域支部連合会(9月開催予定)の当番県であることから例年は温泉地で宿泊にて開催しています本会ですが、そのプレ開催の意味合いを込めて関東地域支部連合会と同じ会場である高崎ビューホテルにおいて開催されました。

今回の学術講演会は、東京歯科大学臨床検査病理学講座教授の井上 孝先生に「再生医療、歯科臨床における可能性」という演題でご講演をいただきました。講演では、再生医療についてだけでなく、講演に先立ち今後高齢者社会を迎えるにあたり歯科の社会的な専門性についてのお話をいただき、地域医療と多職種連携について常に考えていかなければならない、私たち地方の歯科医師としての今後の活動指針として、イントロダクションだけでも大いに参考となるお話でした。そして講演では、iPS細胞についての説明があり、その歯科応用の可能性と老化についてQ&A形式で国試問題を絡めながらのお話がありました。国試問題をみて(私は出来ましたが!)お話の中に良く出てきた「早く歯科医になっておいて良かった!」と言うお言葉には、私を含めた参加者全員がそのフレーズが出る度に頷いていましたが、先生がおっしゃっていた歯科からノーベル賞受賞者を出すのが目標であるという事も、そう遠い未来



ではないように感じさせていただける内容でした。

講演会に続いて、平成28年度の定時総会が開催されました。この総会も他大学出身者の講演会への参加者が多くいたことから、例年とは異なり講演会の後に総会を開催しました。

総会では、冒頭で引田会長から関東地域支部連合会についての説明があり、井上教授と群馬県歯科医師会の村山利之会長も出席され、来賓としてご挨拶をいただきました。引き続き議長として黒田真右先生を選出し、平成27年度の事業ならびに会計に関する議案に

関して審議され承認された。

一日の最後は、メインである懇親会。当日は会場の近くで、群馬が誇るロックミュージシャンの野外ライブがあり、そちらを気にしていた若手会員もいましたが野外ライブに負けない位?盛り上がり、そして和気藹々と懇親をさらに深めた例年通りの非常に楽しい会となりました。

9月の関東地域支部連合会では、群馬の「おもてなし」を参加してくださる方々に、堪能していただけたと思っています。

(平成1年卒・片野勝司 記)



横浜鶴見支部

家族レク開催

8月27日（土）午後6時より横浜中華街にある「トラヴェソ グリル」において鶴見東歯会家族レクが18名参加のもと開催された。

横浜に居ながらにして世界の料理を食べ尽くす第11弾は、熱戦が繰り広げられたオリンピック開催国であるブラジル料理で盛り上がった。

はじめに佐藤秀夫会長が挨拶した後、香山欣哉先生の乾杯の発声で2時間食べ放題、呑み放題がスタート。焼きたてのシュラスコ(肉の色々な部位を串刺しにし岩塩を振って炭火で焼いたブラジリアンバーベキュー)をギャルソンと呼ばれる男性ウエイターが串ごと客席に運び、目の前で食べたい量を切り分けてくれるという肉好きにはたまらない料理である。

さらに、サラダにオードブル、本場ブラジル料理など50種類の料理が並ぶビュッフェのコーナーも充実しており、目移りしながら思い思いの料理を取り楽しんだ。

また、ここは横浜で有名な老舗の果物屋さん「水信」の直営店だけあって、フルーツがどれも瑞々しく最高でこちらもおかわり続出。

お料理とお酒を楽しみながら恒例の会員近況報告も行われ、あっという間に制限時間となり、吉田礎久先生の閉会の辞を以ってお開きとなった。

「平 光雄先生の百寿のお誕生日をお祝いする会」

9月15日（木）午後1時より鶴

見駅西口「クラシック キッチン卓」において平 光雄先生の百寿（100歳）のお誕生日をお祝いする会が11名参加のもと開催された。

平先生は大正5年9月15日生ま



れで、この日がちょうど100歳のお誕生日。

佐藤秀夫会長が挨拶に続いて最大級の祝意を表すべく会長自らによる声高らかな乾杯でお誕生会が始められた。

祝杯を上げたところで、記念品の贈呈に移った。まず本部同窓会より100歳のお祝いを矢崎会長になり替わり佐藤会長（横浜鶴見支部長）が贈呈し益々のご健勝を祈念して大きな拍手が送られた。続いて鶴見東歯会からはお祝いのお花と、出席者全員で書いたお祝いの色紙に桃色のチャンチャンコが贈られた。（百寿は「ももじゅ」とも読むそうで桃色も着るそうである）先生は早速、桃色のチャン

チャンコと帽子を被られ満面の笑みでマイクを持たれると「年を取ると人間は丸くなるものです。わたしは戦争やシベリア抑留なども経験しましたが、不平不満を言わず、誉めることを忘れず、愚痴や泣き言を言わずにいつもニコニコありがとうございますの気持ちを持って過ごしてきました。これからもそう生きていこうと思います。本当に感激です。ありがとうございます」と謝辞が述べられた。次いでお祝いに駆け付けて下さった鶴見歯科医師会 岩木一晃会長からもお祝いの花束が贈呈された。（平先生は、お誕生日の翌週に挙行される鶴見歯科医師会創立100周年記念祝賀会で最年長100歳の乾杯の発

声をされる。）

ここで、先生が認められた墨痕鮮やかなる不朽の名作「荒城の月」の書がお礼として出席者ひとりひとりに手渡され出席者は感激の極みであった。

それならば「荒城の月」を皆で大合唱しようと急遽カラオケ大会に。その後も沖縄県出身の平先生にと沖縄の曲が続き、先生は嬉しそうに聴いておられた。

宴もたけなわであったが、吉田礎久先生の閉会の辞をもって祝宴を結んだ。

帰り道、夜空を見上げると見事な中秋の名月を愛でることが出来た。

（平成9年卒・宇佐美貴弘 記）

横浜南部支部

夏の会員・家族・従業員レクリエーション開催

平成28年8月27日（土）、横浜南部支部の夏のレクリエーションが横浜市金沢区のすし処「かねへい」において開催された。

本会は、毎夏行われる横浜市金沢区主催の花火大会を、お寿司屋さんの2階で海の幸を堪能しながら見物する会を隔年で開催している。

会は午後6時30分に浅川 仁厚生担当理事の司会で開会、鈴木信治支部長が挨拶を行った。その中で、去る6月4日に92歳で逝去された本会元支部長酒井惣一郎先生に対し、永年にわたる学校保健功労による叙位として従六位に叙されたことが紹介された。その後ご来賓の薬師寺 仁本学元副学長にご挨拶を戴き、今回で42回目を迎えた金沢区花火大会の歴史や謂

われを、地元ご出身ならではの昔話を交えて紹介された。

次いで本部同窓会前副会長の玉井達人前支部長の乾杯のご発声で開宴し、途中某理事のご子息の中学受験合格の嬉しいお知らせなども披露され、まさに和気藹々の雰囲気では進行した。

地元柴漁港で捕れた新鮮な魚介類を材料にした多彩な料理に舌鼓を打つうち、待望の花火が始まった。



激しい轟音と共に大小様々色とりどりの大輪の花が咲き誇り、金沢の夜空はまさに空中のキャンパスのようであった。

美しい花火を存分に楽しんだ頃ちょうど会もお開きとなり、山下誠副支部長の閉会の挨拶の後、恒例の記念写真を撮影して散会した。

(昭和63年卒・渡邊宇一 記)



川崎支部

川崎水橋会

6月18日(土)午後5時から、中原歯科保健センターにおいて、平成28年度川崎水橋会学術講演会が行われた。

本年は、母校の水道橋病院眼科よりピッセン宮島弘子教授をお招きして、「歯科医のための眼科最新情報 屈折矯正手術から最新の白内障手術まで」と題する講演が行われた。ピッセン教授は多くのテレビ番組にも出演され、日本屈指の著名眼科医として知られてい

る。特に手術に関する鮮やかさには定評があり、海外でも多くの賞を受賞されている。講演も引っぱりだこで、今回も1年以上前から交渉し、ようやくこの日を迎えたという待望の講演会であったため、会場には50人近くが集まった。

はじめに歯科医師にとって身近な話題から、誰でもフェイスガード等をしていても異物が目に入ることを経験されたことがあると思う。そのような時に、目をこす



ないこと、異物混入の様相で対処法が異なることをわかりやすく説

明された。

つづいて、屈折矯正手術いわゆるレーシックである。一部の不適切な施設で不具合が発生し、手術が危険なものとして誤解され急激に件数が減ってしまったとのことであるが、適応症と術前の確実な検査を行うことにより長期の安定性が確認され、良好な結果が得られるとのことである。実際にビッセン先生も、20年以上前にアメリカでレーシックを受けているとのことである。説得力のあるお話であった。また、歯科医師のように手元の仕事を行う人の場合は、術後視力を弱めに設定することによって仕事に

も全く支障ないとのことであった。メガネの煩わしさから解放されたい方はぜひお勧めするということであった。

さらに、白内障については50代で3割の人に認められ、加齢現象であるため誰でもかかる可能性がある身近な疾患である。現在では、点眼麻酔で水晶体を2mm程度の切開で摘出し、目的にあった眼内レンズを挿入する術式を教えてくださいました。最近では多焦点眼内レンズという遠近両用のものもあり、良好な成績をおさめているとのこと、水晶体の摘出にフェムトセカンドレーザーが導入され精

度が高くなったことなど最新の手術について動画を交えてご説明いただいた。質疑応答では多くの質問が飛び交い、2つしかない目の大切さに皆関心の高さを見せていた。

講演会終了後は、武蔵小杉駅近くのビストロランタンにてビッセン教授を囲み懇親会を行った。聞きたかったけれど聞けなかった質問なども飛び出しながら、和気あいあいとした雰囲気での楽しい会であった。最後は恒例の校歌斉唱でお開きとなった。

(平成1年卒・川越元久 記)



静岡県支部

平成28年 東京歯科大同窓会・神奈川歯科大同窓会 保健説明会・懇親会が平成28年7月10日曜日に静岡市ホテルアソシア静岡にて開催されました。本年は静岡県支部会の役員改選になっています。新支部長の神田潤二支部長のもと、新役員紹介から始まり、報告事項を報告し、東海地域支部連合会総会の協議を行いました。

続いて、東京歯科大同窓会静岡支部と神奈川歯科大同窓会静岡

県支部の合同保健説明会と懇親会を行いました。今回の合同説明会は初めての試みでした。合同で行うことで、出席する人も多く、若干の経費の節減にもなりました。東京歯科大同窓会から約50名、神奈川歯科大から約30名の出席がありました。

保健の説明会は東京歯科大同窓会 亀井正仁副会長の司会で始まり、開会の辞を神奈川歯科大同窓会 山本 繁副会長が行いました。

保険の講演会は東歯 鳥居一也

先生(社保審査員)、東歯 日野原博先生(国保診査員)東歯 山口秀夫先生(社保診査員)の3名の先生により、本年4月の改正について講演がありました。閉会の辞を東京歯科大学 村松英昭先生が行い、引き続き懇親会を行いました。

両校合同の懇親会は神奈川歯科大静岡支部副支部長 山本 繁先生の司会の元始まりました。東京歯科大静岡支部副支部長 松永治己先生の開会の辞、静岡県

歯科医師会会長 柳川忠廣先生の挨拶、静岡県歯科医師会副会長 小澤照雄先生の挨拶で始まりました。両校の同窓会でも地域の歯科医師会での交流あり、それぞれ知り合いの先生を紹介したりしながら和気藹々で楽しく過ごして行きました。両校の学校の紹介、東

京歯科大学は同窓会の120周年のDVDを、神奈川歯科大は大学の学校紹介のDVDを映写し、両校の現状をみていきました。最後に、両校の校歌を斉唱し。エールの交換を行い、今後の繁栄を祈って、一本締めを行い懇親会を終了しました。

それぞれ、燦々と両校の先生と一緒に静岡の町の中に消えていき、さらに懇親を深めていきました。今後もこのような合同の会合ができたらと思いました。

(昭和57年卒・辻 吉純 記)



愛知県支部

平成28年度若手勉強会・社会保険研修会（共催）

平成28年5月15日（日）13時より、愛知県歯科医師会館において東京歯科大学愛知県同窓会、若手勉強会と社会保険研修会が同時開催された。団塊の世代の700万人が全て後期高齢者となる2025年には、75歳以上の人口は2,200万人に達し、全人口の30%を占めるようになる。人口ピラミットの形もすっかり形を逆に変えてしまう。つまり高度経済成長から現在に至る日本の形と全く別の日本へと変わろうとしているのだ。その2025年まであと10年ない、いよいよ2025年へ向けカウントダウンは始

まった。そんな移りゆく時代の中で、至る2025年、さらにその先の未来に向け、若手歯科医師はこれからの歯科界を引張っていく必要がある。若い世代でお互いに情報を交換し、刺激しあい、学びあい、活気を失わず成長し続けようという場として、この若手勉強会は5回目を迎えることとなった。

演者は「毎日の診療から・V」と題し、本校卒業の若手で、現在、開業医として活躍し、勢いを増しつつある2名の先生方が講師として選ばれた。トップバッターとして平成19年卒業、江南市開業の夫馬吉啓先生から「当院で管理に苦慮したMRONJ（ビスフォス

フォネート関連顎骨壊死）の1例」と題し発表が行われた。夫馬先生は大学卒業後、東京女子医科大学口腔外科で研鑽を積み、多くの学びののち数年前に父親の診療室へ戻り医院を改装、女子医大での経験を生かし地域医療に携わっている。地元に戻り、父親から引き継いだ一人の患者さんのMRONJで大変苦勞されながらも対応した経緯を、非常に分かり易く纏めて講演を行った。明日からでも実際に同じような患者さんが自院に来た時の対応をイメージすることができ、心強い話を聞け大変勉強になった。

次に平成9年卒業、名古屋市中

村区開業の宮川宗久先生より、「私の医院でのインプラント治療の推移」と題した発表が行なわれた。宮川先生は大学卒業後、いくつかの勤務医を経験の後、名古屋駅前が開業された。卒業から今日に至るまでには海外での研修や、地域でのスタディーグループでの学び等から、最新の治療の技術や知識を習得された。特にインプラント治療は時代的にも発展を遂げた時期であり、開業当初から現代に至るまでのインプラント治療の症例をお見せ戴きながら、様々な技術や知識が変化してきた推移についてお話された。若手の先生方の発表は、毎回、先輩、後輩共にとても良い刺激となり、明日からの診療に活力を与えてくれる内容である。

さらに、今回は愛知県歯科医師会理事で社会保険部部長の安東基善先生をお招きし、「診療報酬改定に伴う請求上の注意点や改正の重要項目について」と題したご講演を戴いた。4月の改定直後であり、最新の情報を得ることができ、集まった先生方は大変タイムリーな日程で、且つ、大変有意義な内容に満足している様子であった。

同窓会の集まりは何を目的とす

るのか、ややもすると不明確になることがあるが、同じ大学で学び、同じ志を持った同志がこのような集いを継続的に行うことで、その存在意義が生まれるであろう。そしてそれはやがて歯科医師の本望である地域貢献へとつながると期待している。

平成28年度学術講演会

平成28年7月31日(日)、愛知県歯科医師会館において東京歯科大学愛知県同窓会学術講演会が開催された。今回はインプラント治療のトップリーダーとして活躍中であり、現在東京歯科大学インプラント科臨床教授で東京都開業の武田孝之先生をお招きした。演題はこれからの高齢社会を見据えた「患者本位のインプラント治療」と題したご講演をいただいた。先生は東京歯科大学を昭和55年卒業され、臨床の傍らインプラントに関する著書も多数出されている。

インプラント治療が日本の歯科の臨床に取り入れられてきた経緯について、先生ご自身、スペースシャトルコロンビアが打ち上がった時代、1978年に最初にインプラントに出会われたが、その後、日本経済の右肩上がりの成長に伴

い、インプラント治療も広く臨床応用されるようになり、すでに30年を経過していると振り返られた。

1980年代には骨結合を如何に確実に獲得するか、言い換えればインプラントの表面構造が話題の中心であったが、1990年代に入ると審美性の獲得と適応症の拡大に伴う骨増生に衆目が移り、その話題は尽きることなく現在まで至っている。しかし、歯科医師の目指すインプラント治療のために患者さんに負担の大きな術式を選択することが当たり前のようになり、結果としてインプラント周囲炎による再治療や新たな欠損が生じる場合がある。とくに高齢者で基礎疾患を有する患者さんでは新たなインプラント治療に対し躊躇するケースも増えている。

歯科治療、特に補綴治療は「治す」ことはできず、人工物を用いて「直す」ことしかできない。それゆえ、安全性を担保した上で患者負担の少ない効果的な治療を目指すべきであり、高齢者に対しては「健康長寿の延伸」という考え方のもとにインプラント治療を提供する姿勢が重要である。

インプラント治療が本格的に日本の歯科臨床に取り入れられて30年が経過したが、その中で変わるものと変わらないものがある。変わらない原則はインプラントは異物（非自己）であって、開放創である。異物は生態に排除され、開放創は感染するということである。また、30年経ち変わってきたものは、年齢に応じたインプラントの活用方法、健康寿命の延伸へと変わってきている。

治療の際に、どうやって直すか



よりも、まずは患者さんの主訴を受け止め、個々として生き生きと生きて、周りの人と幸せに過ごすために何が必要かを考える必要がある。今、医療は治療の技術を高めることだけを目指すのではなく、人ひとりひとりにあった心の通った患者本位の治療が必要とされていると講演を結ばれた。大変感銘を受けた講演会であった。

(平成9年卒・井上敬介 記)



写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

富山県支部

バスケットボール部激励会

第48回全日本歯科学学生総合体育大会バスケットボール部門は、富山県内各地の体育館で8月5日から10日まで開催されました。歯学部のない富山県で歯学体の競技会が開催されるのは初めてのことであり、また富山県支部長の野田修先生がバスケットボール部OB（昭和53年卒）であることもあり、東京歯科大学の選手諸君の激励会を8月4日に富山第一ホテルで開

催しました。

会には、山崎安仁富山県歯科医師会会長（昭和50年卒）はじめ富山県支部会員8名のほか、遠く福井県から同じくバスケットボール部OBの森本一良先生（平成2年卒）も駆けつけていただきました。

また、今年から発足するプロバスケットボールBリーグ第一部中地区の地元チーム・富山グラウジーズの水戸健史・田中健介両選

手にも参加していただき、プロ選手の立場からのアドバイスも受けることができました。

現役運動部員が大勢集うということで、ホテルには通常よりかなり多めのバイキングの食事を用意していただきましたが、さすがにほぼ完食の逞しさでした。

最後は、男子キャプテン渡辺智尋君のエールで締め、翌日からの健闘を誓いました。

(昭和61年卒・山田雅敏 記)





福岡県支部

福陵会総会・懇親会

平成28年5月14日(土), 福岡市の料亭「稚加榮」にて福陵会総会・懇親会を開催しました。

総会では6年間会長を勤めていただいた石田雅男先生への謝意を表した後, 廣田 稔先生を議長に, 庶務・監査報告がなされ, 前年度の決算報告や本年度の事業計画, 予算案等が承認されました。協議事項として, 今年の九州地域支部連合会総会・懇親会を10月22日に本会が担当するためその対応や, 4月に隣県熊本で多くの被害を出した「熊本地震」への支援について, 又支部未加入の若手会員の勧誘等について協議を行いました。特に10月の九地連総会は九州で初めて開催される日本歯科医学会や併催される九州歯科医学会と同日に開催するため, 「集え!九州人会へ」と多くの参加を呼びかけています。

懇親会は井口由彰先生の乾杯の発声で始まり, 終始和やかな雰囲気

気のなか, 最後に校歌斉唱して閉会。2次会, 3次会と福博の街へ

流れました。

(昭和53年卒・永江健一 記)



クラス会だより

クラス会開催日程

彗星会 (昭和61年卒)	とき	平成28年11月12日 (土) 午後6時～
	ところ	グランドパレスホテル
新葉会 (昭和63年卒)	とき	平成28年11月23日 (祝・水) 午前10時45分集合
	ところ	横浜中華街 萬珍樓點心舗

久喜会

昭和36年卒

代表幹事交代

平成28年7月30日(土)目黒雅叙園で幹事会を開催しました。幹事総数8名のところ6名出席、代表幹事・田中耕誠先生が議長となり、定足数に達したことを確認した後開会、議事に入りました。

各担当より庶務報告、会計報告がなされ、全員意義なくこれを承認しました。続いて、代表幹事・田中耕誠先生より「体調不良により代表幹事の職を辞任し、次期代表幹事に大塚弘介氏を推薦したい」との提案がなされました。賛

否を一同に諮ったところ、全員異議なくこれを承認。これをもって久喜会の代表幹事が、田中耕誠から大塚弘介に交代いたしました。
(大塚弘介 記)

志学会

昭和42年卒

志学会総会が、平成28年7月9日、10日、前々泊組、前泊組、当日宿泊組、合わせて級友36名と奥様14名が参加して、17時30分より「割烹旅館 若松」で開催されました。

9日 (土)

はじめに、去年11月21日に亡くなられた故松川清三君に黙祷を捧げ、次いで日程に従って議事が進められ、最後に来年度の卒後50周年総会を東京で開催することが決定されました。

総会后、会員、奥様全員で記念写真を撮り、別席での懇親会とな

りました。割烹旅館ならではの器と函館づくしの料理を堪能し、皆さんから寄贈されたお酒を酌みかわしました。二次会の席に集う者、各部屋で旧交を温める者、温泉に行く者等、夫々に楽しく有意義なひと時を過ごしました。

10日 (日)

7時から白波の津軽海峡を見ながら、朝食を頂きました。

8時には、全員「若松」の玄関前に集合し、来年東京での再会を約束して、自由行動組は観光バス組を見送った後、各々市内を散策や買物をして、新幹線或いは飛行

機で函館を後にしました。

観光組は、元町を散策しBAYエリアでお土産を買い、11時半には「五稜郭タワー」の「匂花」で昼懐石を食べて、しばしの間、歓談した後、各々の予定に従って帰路につきました。

8日 (金)

11時に、新幹線での到着組と前泊の仲間たちが新函館北斗駅前で合流してバスで森町まで「浜ゆで」を食しに行きました。とりたての毛ガニの浜ゆで、活きウニ、ホタテ等海の幸を満喫しました。夕方到着の人たちと総勢37名で

「しんわの湯」で宴会を催し、その後「函館の裏夜景」を見るために有志が営業車で「城岱牧場」に行きました。「あまりにも絶景で筆舌しがたい」という文言がピッタリの夜景で、皆さん大いに満足して帰ってきました。

9日(土)

早朝5時から温泉につかり、朝食の後、ゴルフ組の10名は北海道C.C.に、観光組の26名はバスで当別の「男子トラピスト修道院」に行きました。修道士の方に院内を案内して戴き、礼拝堂で荘厳なパイプオルガンの演奏を聴き、その後「ルルドの洞窟」までなだらかな坂道を散策し、2時間ほど世俗を超越した時間と空間を体験す

る事ができました。昼食は前日も訪れた森町の「ココ・デッセ」で、駒ヶ岳周辺の北海道らしい雄

大な景色を満喫し、約2時間癒しの時をすごしました。

(西川吉博 記)



coco-desse 前にて



八 実 会

昭和53年卒

「八実会 in 富山」と題しました八実会が、今年は富山県出身の同級生が幹事で平成28年5月28日(土)29日(日)の両日、富山第一ホテルにて開催されました。当日は

昨年開通した北陸新幹線を利用して関東地方から集合した人が多かったようです。土曜日は、ゴルフ組と黒部溪谷トロッコ鉄道観光組に分かれ、それぞれ富山での楽

しいひとときを過ごしました。夕方より懇親会が開かれ、当地出身の野田 修君が司会進行を担当しました。ご来賓として日本歯科医師会の理事であり富山県歯科医師

会会長の山崎安仁先生にお越し戴きました。山崎先生は我々より3級上で、登院時は口腔外科の大学院生だと記憶しています。「あんじん先生」と親しまれ、とても優しく丁寧に教えていただいた記憶があります。富山名産の料理に舌鼓をうち、石川、富山、新潟のいずれも当地だけしか手に入らない喉ごしが良い日本酒をたんまりとごちそうになりました。(本当にうまかった) 2次会、3次会、はたまた4次会まで場所を変え、学生時代の思い出にどっぷり浸りました。

翌日は内田君がガイド役を務め、大型バス貸し切りで立山アルペンルートの観光に出かけまし

た。標高2450mの立山室堂平は、世界でも有数の豪雪地帯、付近の「大谷」は吹きだまりになっているため特に積雪が多く『雪の大谷』とよばれているとのこと。ここの除雪された道路の両側にできる雪の壁が開通時は20mを超えるとのこと。訪れた時は時期的に雪が溶けていてバスの高さぐらいで残念でした。当日は天候に恵まれ、風もなく劔岳や付近の山の稜線をくっきり見ることができました。国内外の観光客が多くいました。下山途中の弥陀ヶ原ホテル(皇太子殿下がお忍びでいらしたこともあるそうです)で昼食を取り、そのまま富山駅に向かいました。駅前や駅自体が新幹

線開業とともに新しくなり、多くの観光客がお土産を求めています。富山名産の『鱒の寿司』はいろいろな種類があり、味付けや酢のメ方の仕方によって好みが分かれるそうです。今回は地元富山駅前在住の稲田君お勧めの鱒の寿司を多くの同級生が買い求めていました。富山駅での解散となり、それぞれ帰宅の途に向かいました。今回は富山県(野田、内田、稲田君)石川県(角君)、新潟県(永井君)のみなさんのご努力のもと、参加した方々にはたいへん楽しい思い出が持てたと思います。有難うございました。(大井誠一 記)



写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。



OB会・グループ・サークルだより

演劇部 OB 会

2年振りの演劇部OB会が、去る平成28年6月5日(日)に、銀座アスターお茶の水賓館で開宴された。

幕が上がると、長野からの副会長・小林則夫(S31卒)、愛らしいナマリのある千両役者・落合雅雄(S32)両先生の挨拶から始まった。

常連の、群馬の大國 勉(S32)、有名な文化人役者・千葉の坂登輝夫(S33)の両先生が、珍しく欠席であったが、同級の佐藤貞彦(S33)、白石雅子(S33)先生が、花を添えて下さった。

舞台裏の事務長・埼玉の延島三男(S34)、いつも司会を務める芸達者な宮下達也(S35)の両先生と、文責の川又正義(S36)。…此処までが、大老?の80歳以上だが何故か皆、元気!!??

そこから、中老のメンバーが欠席で20歳若く?なり、郡山に単身赴任の法歯学・花岡洋一(S

56)、本校生物学・橋本貞充(S56)両教授が、多忙の折のやりくりの出席、ご苦労様です。若い方の要のお役目も、よろしくお願いたします。

更に、大変嬉しい事に、若い荒木優介(H20)、若く美しい松浦姫(H21)の両優が出席、美味しい料理とおしゃべりで盛り上がった。

そんな時、飛び入りで、萩(森)名子(S56)先生が駆け付け、楽しい歓談で時を忘れた。

雑然とした楽屋とドーランのにおいはなかったが、次回からは、若い先生方が中心になってのOB会が、一層楽しくなる予感が大きくふくらみ、離れがたく話も尽きぬ、懐かしい出会いのひと時は、あっという間の4時間であった。

大老、中老の先生方の元気な姿 - 何時までも!

若い澆刺とした先生方の一層の



ご活躍を祈って! チョーン…幕が下りた。

(昭和36年卒 川又正義 記)



山岳部 OB 会 杖痕クラブ総会報告

OB会名を「杖痕クラブ」と呼び、今年84年目になります。志賀高原発哺温泉に50年間山小屋を維持しておりました。その山小屋を使い、3月にスキー合宿と還暦祝を開催し、全国からその為に部員が集合した事を、懐かしく思います。

今年6月25日(土)に水道橋ホテルメトロポリタン・エドモントにて総会・還暦祝賀会が開催されました。昨年は都合悪く参加できなかった55年卒の岡村裕一君(焼津)、三浦勉君(旭川)、米良豊常君(鹿児島)、今年還暦を迎えられた一戸達也君(56年卒)を祝う為、36名の部員が集合。さらに17名の学生諸君も出席。盛大に祝賀会を行いました。

総会は本多哲郎会長(48年卒)挨拶後、事業報告、会計報告など、縣信哉議長(40年卒)のスムーズな進行により承認をいただ

きました。新入クラブ員承認の件では、今年卒業の斎藤香里君を満場一致で仲間を迎えることになりました。今後の活躍を大変楽しみにしています。また最後に85周年祝賀会開催が承認されました。

祝賀会では、大山萬夫君(25年卒)より4名の部員へ祝福の乾杯の言葉をいただき、クラブから真紅のセーターを贈らせて頂きました。

プレゼンターとして、野間前部長(37年卒)、福嶋修治君(51年卒)、柴原孝彦部長(54年卒)か

らも言葉をいただきました。特に熊本大地震の直後にもかかわらず、奥様と参加して下さった福嶋先生には感謝致します。

米良君から御礼の言葉の他に、近況報告として今でも現役時代同様に山行を楽しんでいる九州の山の素晴らしいスライド報告に、全員が感嘆!!

追伸

来年は、杖痕クラブ部開設85周年になります。盛大な祝賀会を予定しております。

(昭和53年卒 茂木元介 記)



還暦祝の一人、一戸君



野間前部長とクラブ員



河田英司先生 バスケットボール部部長退任記念祝賀会

平成28年7月17日（日）19時より、ホテルメトロポリタンエドモント波光の間において、「河田英司先生 バスケットボール部部長退任記念祝賀会」が開催されました。

河田英司先生（歯科理工学講座主任教授・歯科医学教育開発センター・センター主任、S51年卒）の平成28年3月末の本学定年退職に伴い、バスケットボール部部長職をご勇退されたことを記念して開かれたもので、部長職27年という長きにわたるご苦勞に対し、労いや感謝の気持ちを伝えるべく、当日は全国から36名のOB・OGが出席しました。

OB会幹事・高野智史先生（H18年卒）の司会のもと、まず初めにOB会長である村田憲一郎先生（S50年卒）から、河田先生への感謝のお言葉とともにご挨拶を頂戴しました。続いて片桐博陽先生（S50年卒）より、現役時代の思い出も交えながらのご挨拶と乾杯のご発声を頂き、祝宴が始まりました。

会の半ばには、今年度の歯学体（オールデンタル）のバスケットボール部門が富山県で開催されるとの報告があり、富山県開業の野田修先生（S53年卒）から地元代表として歓迎のお言葉を頂きました。また、河田先生の後任の新任部長として、高野智史先生（本学老年歯科補綴学講座・助教）の就任がお披露目されました。続いて西山真央先生（H28年卒）から河田先生へ花束が、村田OB会長

からは記念品の目録の贈呈がありました。

引き続き、河田先生からは退任の会開催の御礼の言葉とともに、「前任の小宮山彌太郎先生（S46年卒）から部長を引き継いだのが、大学の職務のため、現役の面倒を十分に見ることができなかったが、講義や教務を通じて学生達を見守り、叱咤激励してきたつもり。ここまでやってこられたのはOB・OG会の皆様の支えがあつてこそ。大学には、歯科医学教育開発センターに勤務しているので、何かあったら遠慮なく声をかけて欲しい。」とお話を頂きました。

最後に尾松素樹先生（S54年卒）より、河田先生への感謝の言葉とともに、「歯学体主管（昭和49年）の成功やOB会の発足など

は河田先生のリーダーシップとご尽力の賜物。また、昨今の歯科医師国家試験での本学の好成績は教務部長としての河田先生のご功績が大変大きい。」とお話をいただき、中締めとなりました。

お世話になりました河田先生には改めて感謝と慰労の意を表するとともに、健康にご留意され、益々ご活躍されますことをお祈り致します。

（昭和63年卒 渡辺和宏 記）



スキー部 OB 会

平成28年5月28日(土)午後6時より、新宿の三井倶楽部でスキー部OB会・納会が行われ、学生・OB・OG併せて55名が参加した。

OB会長・川越元久先生、部長・高橋俊之先生、顧問・山下秀一郎先生からそれぞれご挨拶をいただいた後に講演会を行った。本年の講師は、歯周病学講座出身の高橋潤一先生(平成4年卒)で、タイトルは「歯周ポケットへのアプローチ」であった。1年生から大先輩まで幅広い年齢層を対象とするので内容の構成に苦慮されていたようだが、大変わかりやすく宿主の抵抗力の差異が臨床症状に及ぼす影響を提示された。4月の保険改定に準じる内容もあり、それぞれが意義を感じられた講演であった。つづいてOB会総会へと移り、役員改選では会長の再選、来年に控える50周年記念事



業の内容等が承認された。

その後、細川伊平先生(昭和44年卒)の乾杯を合図に懇親会が開始となり、楽しい歓談が続いた。そして、納会では3名の卒業生に恒例のペナントと花束が贈呈された。さらに、本年は8名の新入部員を迎えた現役部員の紹介、昨年度の活動報告が行われた。また、こここのところしばらく空位となっていた監督に、田中公文先生(平成7年卒)が就任することとなった。部員も増えて、今年度のデンタルでの活躍が期待される。

そして、平成29年5月28日(日)午後2時～5時にスキー部創部50周年記念祝賀会が、ホテルメトロポリタンエドモント東京(飯田橋)で行われることが発表された。50周年記念誌等を計画中で、クラブ活動の写真、動画等をお持ちの先生はぜひご協力いただきたい。

閉会の後、集合写真、恒例の卒業生胴上げを経て、二次会へと場所を変え本年のOB会は終了となった。

(平成20年卒 黒田英孝 記)



すいどうばし

血脇イズムの真髓を探る

安藤三男（昭和37年卒）

はじめに

血脇イズム「歯科医たる前に人間たれ」は東京歯科大学建学の精神とされ、同窓会120周年記念式典では、矢崎会長や来賓の祝辞、本紙記念座談会等でも取り上げられた。しかしその真意や作られた背景などは、未だ考証されていない。この血脇イズムこそ本学の永遠に残る名言であり、我が国の歯科全体の不滅の財産といえる。そこで筆者は歴史的な事実にもとづいて、その真髓を探って見たいと考える。

概要

明治維新になって、福沢諭吉はこれからの日本の医学は漢方ではなく西洋医学でなくてはならない、と強く主張した。西洋医学はヒポクラテスの自然科学が基本で、イギリス医学を学んだ高木兼寛は、慈恵精神を構築し、血脇守之助も東京歯科医学院を継承し血脇イズムを作り上げた。そして、北原白秋は、それを見事に校歌に歌い上げた。ここに血脇イズムの真髓がある。

1 明治維新の医学に貢献

学問のすすめで有名な啓蒙思想家、福沢諭吉は、2度にわたる欧米視察をし、コレラなど伝染病の脅威を眼のあたりにし、日本の医学は西洋医学でなければならない

と、強く感じた。諭吉と医学との関わりに北里柴三郎との出会いがある。北里がドイツで破傷風菌を発見し帰国した際、その紹介記事を諭吉は時事新報に掲載した。むかし西洋の社会に「医は自然の臣僕なり」という言葉あり、又一方の説に医は天と争い天然の秘密をあばき出して病を征伐し、又その攻め来たるを防ぐべしと書き出し、西洋医学の重要性を訴えている。医は自然の臣僕なりはヒポクラテスの言葉として、オランダ医の間で有名になったものである。慶応大学の北里図書館に諭吉の漢詩、「無限輪贏天文人、医師休道自然臣」がかかげられている。医学というものは自然と人間の戦いであり、医師が自分達は自然のしもべなどというなかれ、の意味である。

針鍼、庵法等の漢方医学から、自然科学による西洋医学への切り換えはまさに明治維新の医学革命である。もちろん歯科も漢方では治すことが出来ず、校歌でいう窮理の治法でなくてはならない。

2 今なお生きる慈恵精神

血脇イズムと並び称せられる言葉に、慈恵精神の「病気を診ずして病人を診よ」がある。これは慈恵医大の建学の精神で、創設者高木兼寛の言葉で同病院の「外来受診のご案内」更に玄関正面の表

示板に掲げられ、診療の基本スピリットとして、今なお生きている。

兼寛は海軍のトップ海軍軍医総監を務め、日露戦争で海軍の食事を麦飯にして脚気患者は僅か105人、一方陸軍は白米食で実に25万人の脚気患者を出した。兼寛の脚気予防は日本海海戦の勝利に大きく貢献した。

明治43年東京歯科医学院創立10周年、専門学校へ昇格した記念祝賀会で、石黒忠恵元陸軍軍医総監よりも兼寛が第1番に挨拶したことは有名な話で、守之助との親交は篤かった。

慈恵精神はヒポクラテスの「医師にして哲学者である者は神に等しい」（品位について5）に通じる。

3 ヒポクラテスの教え

ヒポクラテスは古代ギリシャの哲学者で、医聖とも呼ばれていた。ヒポクラテス関係の著述は医術が主であるが哲学、倫理、自然科学全般にわたり医術の教え方では医学教育にも関係している。

明治26年、守之助は高山歯科医学院に入学し、学院の幹事となり、2年後には医術開業試験に合格、院友会を結成、その目的の第1条に、「本会は歯科医学上の知識を交換し、相互の友誼、親睦を篤くし兼ねて歯科医師の品位を高むるにある」と規定しヒポクラテ

スの品位に合致する。古代ギリシャの医療とこの時代の我が国の歯科医不足に由来する医療倫理の悪さが似ているからに外ならない。

ヒポクラテスの言う医師とは「人間愛のあるところに医術への愛もまたある」(医師の心得5)からも明らかのように、優れた医術をもった医師のことであり、哲学者とは物事を詳しく思考するように、病人のことを色々考えて治療する医師をいい、両者を兼ね備えれば神に等しいと最大級の評価をしている。ヒポクラテスの「品位について5」慈恵精神、血脇イズムの教育理念に一致している。

4 血脇イズムの国語学

血脇イズムの「たる、たれ」は平安時代から江戸、明治時代によく使われた慣用句である。「たる」は資格を持つ名詞につき、「たれ」は強い願望を込めた命令形である。人にまつわることわざは数え切れないほどあるが、人には動物と区別するホモサピエンスと社会を形成する人間があり、人間には社会生活の中で強く人間性が要求されている。歯科医たる前に人間たれは、歯科医療の倫理を強く求めた名慣用句といえる。

5 血脇イズムは校歌にあり

昭和2年、校歌校旗の発表祝賀会で北原白秋はこう挨拶した。私は校歌をいくつも作った。しかし、こんなに感激したことは一度もない。詩を作るのにその材料となるものは山、川、谷、海です。しかし水道橋には何もありません、困りました、弱りました、苦しみました、

この学校で歌うべきものは血脇イズムである。私はこの歌を作って、この学校の学生になった、同窓になった、実に愉快だ。

この時点で校旗はなく、校歌の「校旗は燦たり」は血脇は燦たりとなる。我が師は血脇で先ず血脇に会って、次に血脇イズムを学び、これを讃え、頁をめくるように分析吟味し、この伝統を護ろうというものだ。「医はこれ濟生ひとえに仁なり、国手の精神、窮理の治法」と4回くり返している。これぞ天才詩人、白秋が捉えた血脇イズムである。医は病を治すものであり、人々に恵を与えるもので、ここで学ぶ者は我が国の歯科医療の担い手となり、道理にかなった治療法を身につけようという意味である。そして、「ひとえに仁なり」こそ血脇イズムの真髄である。

ことわざ大事典(小学館)によると「医は仁術」とは、医は仁愛の徳を施す術であり、病人は弱いもので、これを救うのは医者之道であり、金もうけの手段であってはならないと記してある。

ヒポクラテスは、報酬のことで患者と争ってはならない、特に急性患者に対し十分に容態を観察し必要な治療を施すことが先で、収益は度外視すべきである(医師の心得5)としている。校歌の「ひとえに仁なり」とはひたすら仁愛の徳であり、金もうけの手段であってはならない、の意味である。

守之助は歯科医になって3年後に、中国で巡回診療を行った。欧米4人の歯科医と同じホテルで開業したが、守之助は1番人気で大

好評、その原因は治術の云々はさておき欧米人は患者によって料金に差をつけた為で、公明正大で良心的な料金が大切に、歯科医にとって人間性が必要であることを経験した。

また、校歌でいう「国手の精神」とは我が国の医療を背負って立つ考え、「父なり友なり全き家なり」はヒポクラテスのこの術を私に授けた人を私の両親同様に思い(ヒポクラテスの誓い1)に通じて家族主義に一致する。

考察

ヒポクラテスは病気は人間の体が治るのであって医者はその手助けに過ぎないことから、「自然の臣僕なり」とした。論吉は医者は伝染病に打ち勝たなければならないことから「自然のしもべなどと云うなかれ」とした。しかし、虫歯は自然に治らないし、薬やワクチンでも治らない。全て医師の手仕事でここに歯科の特殊事情がある。血脇イズムの背景には医科と違った歯科の特殊事情がある。歯科治療は手仕事が多く大量生産が出来ない。しかも上手、下手の個人差があり、技工物の材料にはいろいろあり、画一的な料金の設定は難しい。

医療技術には客観的な技術と主観的な技能がある。技術は科学的で大量生産が出来、技能は芸術的で個人差があり、大量に作ることはできない。これを絵に例えると、ダビンチの描いたモナリザは技能であり、これを印刷したカラー写真は技術ということになる。歯科診療は技能的な面が多く、その良し悪しは患者にはわか

り難い。従って、多くの場合術者を信じるしかない。そこで守之助は考えた。医は仁なり、歯科は人なりと。血脇イヅムはここで生まれた。必要は発明の母であり、守之助の慧眼が冴えた。

結論

ヒポクラテスは医師にして哲学

者であるものは神に等しい、人間愛のあるところに医術への愛もまたある、医は自然の臣僕なり等と歴史に残る名言を残した。福沢諭吉は医師よ医は自然のしもべなどと云うなかれと、窮理の西洋医学の導入を主張した。高木兼寛は病気を診ずして病人を診よと慈恵精神を構築した。血脇守之助は歯

科医たる前に人間たれと歯科の特殊事情に人間性が必要と強調した。北原白秋はこの血脇イヅムを、医はこれ濟生ひとえに仁なり、と校歌に見事に反映した。血脇イヅムの真髓は『ひとえに仁なり』にあり、「人でなし」を排除した患者目線の治療となる。

奥田克爾著「史上最大の暗殺軍団デンタルプラーク」の紹介

猿田 峻 (昭和43年卒)

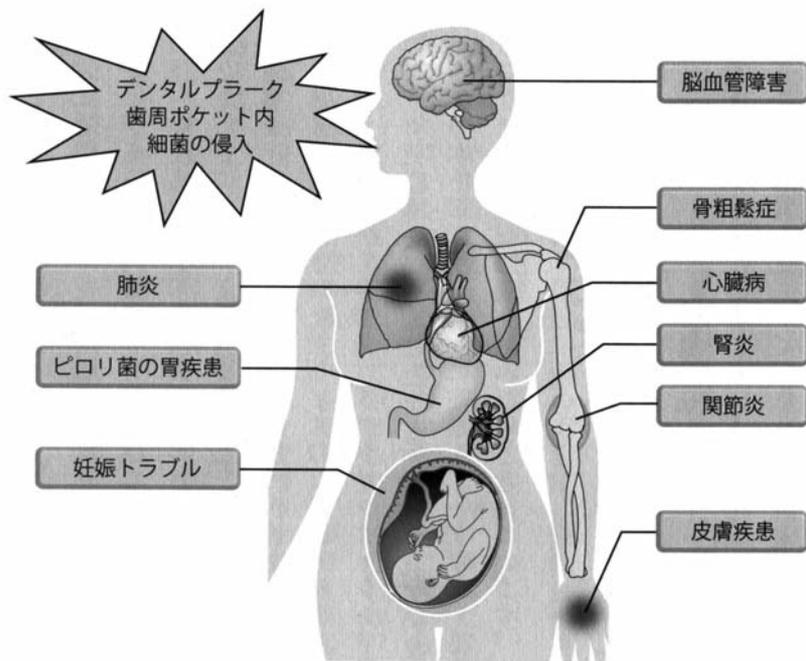
無二の親友である名誉教授奥田克爾君は、初代微生物学講座米澤和一教授に研究室に残れと誘われ、口腔細菌学の第一人者の高添一郎名誉教授の指導を受け、スウェーデンとアメリカの留学生試

験にパスして研鑽を積んできました。医学分野でも評価されている研究者として、多くの書籍や論文を出してきています。今回、医歯薬出版から縦書きの「史上最大の暗殺軍団デンタルプラーク」を上

梓しました。昨年から出版について私も相談させてもらい、分かりやすく書くべきであるとアドバイスしてきました。デンタルプラークは、歯の垢などでなく暗殺細菌軍団であることを実証した内容



表紙にデンタルプラークはテロの細菌集団であると書いています。



本の中にあるデンタルプラーク細菌がさまざまな全身疾患に関わることの説明図(元になる図は奥田君が編集したP&G社から発行した「オーラルヘルスと全身の健康」に掲載されたものです。類似の図は、各地の歯科医師会の広報や歯科医院のHPによく使用されています。)

は、日本歯科新聞や歯界展望の書評などで高く評価されています。私が本同窓会誌に紹介させてもらいたいとお願いしたのは、奥田君の母校愛と歯科界への熱い想いが溢れていることに感服したからです。

文を起こすのにある事例を紹介して、興味を引き出してから論を展開する手法を駆使しています。その背景には、教養課程で学んでいた時から無類の読書家で、いろいろな本を読んでいたためと思います。「紀元前に医学の父ヒポクラテスは、スケーラーを開発して歯周治療に取り組んでいたこと」、「歯科感染症は、命を奪う疾患であることの100年を超える研究の成果」などについて、得意なイラストを組み込んで分かりやすく解説してあります。

15章からなっており「繰り返されてきた健康破綻は口から始まる証拠」、「口腔内に魍魎魍魎がテロ集団として棲みついていること」、「ミュータンス菌と脳出血の関係

での本学同窓の研究内容」、「歯周病が循環障害や糖尿病へ関与している研究実績」、「いつまでも若く美しくの秘訣は口のケアにあるとして実践している同窓の活躍」、「肺炎やインフルエンザ感染予防における口腔ケアについての研究成果」、「健康長寿はオーラルヘルスからの根拠」など自らの研究業績を盛り込んだ内容には惹きつけられます。私は医療、介護に携わる者にとって必読書であると思っています。

あとがきには、野口英世博士と血脇守之助先生はじめとした本学の連綿とした絆について触れています。歯科医師として最初の衆議院議員の石塚三郎先生は、学僕として住み込んでいた野口英世博士と運命的出会いをされて起居を共にして勉学し、生涯にわたり野口博士を支えられました。1928年野口博士がガーナで殉職すると、新宿区大京町に野口英世記念会を設立され、その理事長としても運営に肝胆を砕かれ親友の偉業を顕

彰されました。名誉教授の高添一郎先生は、野口英世記念会の理事長として野口英世アフリカ賞の設立や猪苗代湖にある野口英世記念館のリニューアルに尽力されました。野口英世記念館の入場者は東京電力福島第一原発事故で激減しましたが、新装になった記念館では微生物学を身近に学ぶことができるようになり、入館者も徐々に増えてきています。生家の柱に彫った「志を得ざれば再び此の地を踏まず」を見ることができ、大志を持つことの大切さを知ることができます。また、進行した梅毒患者の脳内に病原体トレポネーマ・パリダムを発見された燦然と輝く業績、そして「人類のために生き、人類のために死せり」の足跡を辿ることができます。奥田君は野口英世記念会の理事として、より多くの人たちに野口英世記念館を訪れて人類は感染症と戦い続ける運命にあることなどを学んで欲しいと結んでいます。

田松裕一先生鹿児島大学教授就任祝賀会

鹿児島県支部長 吉 嶺 光 (昭和50年卒)

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科解剖法歯学分野教授に田松裕一先生が、本年3月1日就任されました。先生は埼玉県上尾市のご出身。岡山大学歯学部3年の時、井出吉信教授(当時)の出張講義に深い感銘を受けて、卒業直ちに本学大学院(解剖学専攻)に入学されました。修了後、本学講

師を経て鹿児島大学に赴任。米国留学も経験されています。以来、同窓会鹿児島支部とは深いお付き合いです。英明、実直、優しいお人柄です。学生教育にも非常に熱心とお聞きしています。

6月26日(日)当地の城山観光ホテルに井出吉信学長、橋本正次副学長はじめ解剖学講座OB会員



井出学長



宮脇歯学部長

32名、鹿児島大学歯学部宮脇正一

田松 裕一 先生 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
解剖法歯学分野 教授就任祝賀会
平成28年6月26日 城山観光ホテル



学部長はじめ教授，名誉教授，助教の先生方18名，県歯会役員，同窓会県支部会員，ご友人総勢93名で盛大に祝賀会を開催しました。

ご来賓の祝辞で多くのエピソードが披露されました。鹿児島大学への赴任の話が持ち上がった時，奥様は「この東京から鹿児島なんて」と涙されたそうです。校長をされていたお父様から「教授の命には従うか，辞めるかどちらかだ」と諭され決心したそうです。原住民としては何か申し訳ない気持ちで当時の話を聞いていました。現在はお二人ともすっかり薩摩人になり切っておられます。本学教授阿部伸一先生の乾杯の音頭で祝宴となりました。鹿児島大学歯学部長宮脇正一先生によるプロ級のマジックショーは必見でした。友人方のフラダンスと続き，座は大いに盛り上がりました。先

生のお人柄そのままに明るく和やかな雰囲気の中，今後の活躍を祈念しつつ万歳三唱で閉会となりました。

先生は研究，教育はもとよりプログラミングにも精通し，撮影技術も相当な腕前との事です。難解

な内容も得意の画像を駆使して分かり易く熱い口調で講演して下さいます。ご活躍の場がますます広がって行くと思われます。全国の同窓におかれましても田松裕一先生をお引き立て賜わりますようお願い申し上げます。



庶務日誌

7月

1) 理事会

7月27日(水) 第4回常任理事会

2) 委員会

7月1日(金) 総務・厚生部女性会員活動推進委員会

7日(木) 事業推進部学術委員会 2017年プログラム委員会 (卒後研修)

11日(月) 広報部広報委員会

11日(月) 事業推進部社会保障制度研究委員会

14日(木) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会

16日(土) 選挙管理委員会

19日(火) 会務運営協議会

19日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会 (補綴セミナー打合せ)

27日(水) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会

29日(金) 総務・厚生部総務厚生委員会

31日(日) 事業推進部学術委員会全体委員会

3) 出張

7月2日(土) 信越地域支部連合会総会・支部長会
富山副会長, 中島常任理事,
阿部理事出席

学術講演会 講師・山本 仁教授
(母校)

2日(土) 新潟県支部総会 富山副会長出席

2日(土) 全国歯科大学同窓・校友会懇話会
矢崎会長, 白井専務理事,
宮地顧問出席

3日(日) 群馬県支部学術講演会
講師・井上 孝教授 (母校)

9日(土) 小樽支部総会 戸田理事出席

14日(木) 東京地域支部連合会学術講演会
講師・藤関雅嗣氏 (東京都開業)

31日(日) 愛知県支部学術講演会
講師・武田孝之氏 (東京都開業)

4) 事業

7月10日(日) TDC アカデミア2016 臨床セミナー
移植・再植セミナー

13日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
TDC 研修倶楽部

20日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
DSM

24日(日) 学年代表者会

28日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修
歯科臨床を語る会

8月

1) 委員会

8月4日(木) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会 (全
体会)

10日(水) 総務関係打合せ会

23日(火) 事業推進部学術委員会 2017年プロ
グラム委員会 (卒後研修)

24日(水) 広報部広報委員会

24日(水) 事業推進部学術委員会 運営委員会
(医療教養)

29日(月) 渉外部渉外委員会

29日(月) 事業推進部学術委員会 企画会議

30日(火) 総務・厚生部総務厚生委員会

2) 出張

8月20日(土) 第32回全国歯科大学同窓会・校友会
学術担当者連絡会
加藤委員長, 山本副委員長出席

3) 事業

8月17日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
DSM

25日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修
歯科臨床を語る会

9月

1) 理事会

9月17日(土) 第4回理事会

2) 委員会

9月1日(木) 事業推進部学術委員会 運営委員会
(補綴セミナー写真撮影)

2日(金) 事業推進部学術委員会 運営委員会
(補綴セミナー最終予演会)

2日(金) 会計連絡会 (来年度予算協議会)

5日(月) 総務・厚生部女性会員活動推進委員会

5日(月) 事業推進部学術委員会 運営委員会
(医療教養)

6日(火) 二校会主催若手研修セミナー打合せ会

- 9日(金) 広報部広報委員会
12日(月) 会務運営協議会
- 3) 出張
9月3日(土) 長野県連合総会・支部長会
澁谷副会長出席
学術講演会 講師・笠原正貴教授
(母校)
- 4日(日) 関東地域支部連合会総会・支部長会
早速副会長, 臼井専務理事,
大野理事出席
学術講演会 講師・松浦利隆先生
(群馬県立女子大学群馬学センター
教授)
- 4日(日) 東海地域支部連合会総会・支部長会
矢崎会長, 高橋常任理事,
国島理事出席
学術講演会 講師・落合偉洲氏
(久能山東照宮 宮司)
- 5日(月) 東京地域支部連合会東歯保険関係懇
談会 矢崎会長出席
- 10日(土) 北海道地域支部連合会総会・支部長会
富山副会長, 臼井専務理事,
戸田理事出席
学術講演会 講師・野村武史教授
(母校)
- 11日(日) 明海大学歯学部同窓会創立40周年記
念式典・祝賀会 矢崎会長出席
- 4) 事業
9月10日(土)・11日(日)
TDC アカデミア2016 臨床セミナー
補綴セミナー
- 14日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
TDC 研修倶楽部
- 15日(木) TDC アカデミア2016 医療教養
フロンランナーセミナー 第2回
- 21日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
DSM
- 22日(木・祝)
同窓会主催全国ゴルフ大会(武蔵丘
ゴルフコース)
- 27日(火) ソーシャルメディアを用いた集客勉
強会
- 29日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修
歯科臨床を語る会
- 10月
1) 理事会
10月15日(土) 第5回理事会
- 2) 委員会
10月3日(月) 会務運営協議会
- 4日(火) 事業推進部学術委員会 2017年プロ
グラム委員会(卒後研修)
- 13日(木) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 14日(金) 広報部広報委員会
- 18日(火) 総務・厚生部新進会員のつどい実行
委員会
- 19日(水) 渉外部渉外委員会
- 25日(火) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 3) 出張
10月8日(土) 宮崎県支部学術講演会
講師・二階堂雅彦氏(東京都開業)
- 8日(土) 北陸地域支部連合会支部長会
佐々木常任理事, 野田理事出席
- 22日(土) 九州地域支部連合会総会・支部長会
矢崎会長, 高橋常任理事,
田部理事出席
- 22日(土) 日本歯科大学創立110周年全国校友
大会記念式典・記念講演・祝賀会
澁谷副会長出席
- 23日(日) 東北地域支部連合会支部長会
富山副会長, 田島理事出席
- 30日(日) 中国地域支部連合会支部長会
矢崎会長, 野間理事出席
- 31日(月) 東京地域支部連合会支部長会
矢崎会長, 山口理事出席
- 4) 事業
10月2日(日) 二校会主催若手支援セミナー
- 12日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
TDC 研修倶楽部
- 19日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修
DSM
- 27日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修
歯科臨床を語る会

—— 4月に亡くなられた寺木泰雄君に哀悼の意を表します。 —— 富巳会(昭和40年卒) ——



歌舞伎、モダンジャズ(ジョージシアリング)、シャンパンと蕎麦、絵画やウクレレ、野球(阪神)、ゴルフ(H/C9)、読書、麻雀、釣りに車。多趣味で博識であった。

「来る者は拒まず、去る者は追わず」が君のモットー。

市川時代に6人が集まり、ハワイアンバンドのマブアナハワイアンズ(後にリーフアイランダーズ)を結成し、君はウクレレとヴォーカルを担当し、色々な場所で演奏しましたね。又、有楽町、

銀座、新宿とジャズ喫茶(ライブハウス)によく通い、生バンドの演奏を楽しみましたね。

そして授業中君が好きであったライオンの絵が実に特徴をつかみよく画け、今にも歩き出しそうでした。

卒業後、夏の花火の季節になると、君の家に友人、知人、そしてプロのハワイアンのミュージシャン達、フラダンスの人たちも集いセッションを楽しみましたね。

又、長年歯科医師会の役員に携わり、地域医療に貢献してきました。

君の4月の誕生月が今年は金婚式であり、家族が計画を立て、楽

しみにしていましたが、病室での記念日となってしまいました。現在、診療所は春江夫人(41年卒)と浩介君(長男)が引き継ぎ、優子さん(長女)は結婚して近くに住み、釣りの得意な君が釣ってきた鮎しか食べないセヴィル(スコティッシュフォールド)。寂しい中、少しでも明るさを取り戻す日々となるように願っています。だが、時間が経っても、ますます気持ちの内では残念さと悔しさが増えています。

君との長い付き合いをさせてもらい、本当に数多くの思い出を有り難う。

マハロ
(昭和40年卒・三森信春 記)

—— 山田善雄君、逝く —— 飛翔会(昭和46年卒) ——



仕事中の突然の知らせであった。電話口で親友の死を言っている。「父が今朝6時に亡くなりました。」「えー」と言って、間を置いた。わかると、急に涙があふれた。何も言えない。大分前から身体の具合が悪く、仕事を離れて養生していた。

いつから山田善雄君と友人になったのだろう。よくわからない。大学を卒業する頃、悩み多い二人は自然と親しくなっていた。

それから生理や麻酔の教室に関わり、ずっと一緒だった。

学会の度に全国を旅行した。仙台に教授のお伴で行く列車で、教授にビールを飲むことを許され、一杯目を飲んで、二杯目を飲むと呼ばれて怒られた。席に戻ると、彼はニコニコしながら「飲んでいいと言ったんだよなー」と。その後、仙台で食べた鹿のステーキとエスカルゴは絶品だった。

札幌の学会で留萌から旭川へドライブした。途中強盗犯に間違えられ、何回も警察に車を止められ調べられた。旭川を過ぎて最後に

止められたときは、スピード違反だった。

柳川で北原白秋の生家に行き、展示してある校歌を見て感激し下手な歌を唄い、小舟に乗って濠を巡った。有明海を見ながら、イソギンチャクやムツゴロウを恐る恐る食べた。彼との思い出は尽きることがない。

いつも明るく、やさしくそして楽しい男だった。酒が好きでよく飲み、口を尖がらせておちゃめを言った。リーダーシップがあって、人の話しをよく聞き、みなが談論風発するや、やおら割って入

り「俺はこう思うよ」と、静かな声で話し始めるその言葉は、いつも示唆に富み、私だけでなく、周りにとっても大切なものだった。

彼は常に、奥様を愛し、子供さん達を愛した。その愛はだれもが

出来る生易しいものではなかった。全てを受け止めて精一杯生き、ただ黙して運命に恭順して跪いた彼を、私は誇りに思う。

最期に彼はこう言うだろう。「俺は先に逝くよ。お前さん達は、そ

こでもっとがんばれよ」と。

「山田！また何時か会って楽しい話をしようぜ。」

(昭和46年卒・阿部晴弘 記)

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 35 卒	竹 田 和 男 (80歳)	神奈川県横須賀市	28. 2. 2
●推 薦	菊 地 只 男 (93歳)	北海道旭川市	28. 6. 12
●昭 25 卒	森 内 護 (88歳)	静岡県富士宮市	28. 4. 23
●昭 24 卒	小山田 修 (87歳)	静岡県賀茂郡	28. 6. 30
●昭 47 卒	柳 原 正 義 (68歳)	埼玉県入間市	28. 6. 22
●昭 46 卒	山 田 善 雄 (70歳)	東京都世田谷区	28. 6. 30
●昭 18.9 卒	福 島 和 生 (93歳)	北海道札幌市	28. 7. 6
●昭 52 卒	井 上 清 志 (64歳)	岡山県岡山市	28. 7. 4
●昭 19.9 卒	大 川 重 保 (98歳)	神奈川県川崎市	28. 7. 12
●平 25 卒	橋 本 宗 典 (30歳)	福島県郡山市	28. 7. 13
●昭 27 卒	宮 尾 尚 文 (86歳)	神奈川県平塚市	28. 7. 19
●昭 36 卒	長谷川 孝 義 (80歳)	茨城県稲敷郡	28. 7. 16
●昭 47 卒	田 中 正 陽 (69歳)	北海道登別市	28. 7. 24
●昭 24 卒	西 村 治 (88歳)	東京都北区	28. 7. 23
●昭 26 卒	武 石 義 弘 (91歳)	東京都文京区	28. 7. 25
●昭 40 卒	下 井 直 彦 (82歳)	長野県飯田市	28. 8. 10
●昭 26 卒	波多野 祥 二 (87歳)	青森県弘前市	28. 8. 17
●昭 31 卒	笠 原 正 和 (84歳)	長野県岡谷市	28. 8. 18
●昭 25 卒	行 田 桂 (87歳)	長野県茅野市	28. 8. 27

●昭 49 卒	大澤 豊 (74歳)	埼玉県春日部市	28. 8. 29
●昭 23 卒	三宅 直晴 (89歳)	東京都世田谷区	28. 8. 29
●昭 50 卒	三木 純子 (65歳)	山梨県甲府市	28. 9. 16
●昭 19.9 卒	塩谷 巖 (92歳)	新潟県新潟市	28. 7. 31
●昭 36 卒	関 星良 (82歳)	東京都品川区	28. 3. 27
●昭 26 卒	八幡 昌介 (86歳)	宮城県宮城郡	28. 9. 8
●昭 50 卒	平戸 正文 (68歳)	広島県府中市	28. 9. 25
●昭 32 卒	下野 邦雄 (84歳)	静岡県静岡市	28. 1. 25
●昭 24 卒	高市 正浩 (90歳)	愛媛県松山市	28. 9. 27
●昭 22 卒	佐川 巖 (90歳)	栃木県大田原市	28. 10. 1



訂正とお詫び

会報「404号」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

p 1 巻頭言
右段下から16行目

誤：18名

正：19名

◆投稿規定

※平成26年度より、偶数月発行から年間4回（2，6，10，12月）の発行になりました。

- (1) 原稿締め切り
原稿の締め切りは、発行前月の10日までとし、原則として締め切り翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮下さい。ワープロ等電子機器使用の場合は1行15字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ（2Lなど）で集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。
- (3) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。なお、掲載については委員会にご一任いただきます。
- (4) 写真等の返却
写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真の場合は、その旨書き添えて下されば返却いたします。写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

(5) 投稿字数

投稿欄	内容	文字数, 備考
追悼	故人の追悼文	600字程度でお願いしています。
すいどうばし いなげ	随想, 詩, 短歌, 時評など	1編1,700字程度（1ページ）。投稿者本人にしか解らない思い入れや、取り止めのない随筆はご遠慮いただき、出来るだけ大学や同窓会に縁（ゆかり）あるものが望ましい。
支部のうごき クラス会だより		1ページ1,700字程度（1ページ以内でお願いします） 写真が入る場合下記を参考に文字数を減らしてください。 全員の集合写真は720字に相当、会場風景や大勢のスナップ写真は360字相当、数人のスナップ写真は120字相当で掲載します。 尚、同窓会ホームページよりひな型をダウンロードできますのでご利用下さい。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ

<http://tdc-alumni.jp/organization/dousoukai/kouhoubu/> をご覧下さい。

投稿送付書

郵送で投稿の方は下記送付書に内容を記載し、同封をお願いします。

お名前（漢字）		フリガナ	所属支部	支部
卒業年数（どれか1つ）	（昭和・平成・西暦） _____ 年卒 / _____ 期卒			
住所（自宅・勤務先）	〒 _____			
電話番号（自宅・連絡先）	-	-	FAX 番号	-
投稿先 <input type="checkbox"/> に <input checked="" type="checkbox"/> 印チェック	同窓会会報	<input type="checkbox"/> カラーグラビア	<input type="checkbox"/> 追悼	<input type="checkbox"/> 支部のうごき <input type="checkbox"/> すいどうばし <input type="checkbox"/> いなげ <input type="checkbox"/> クラス会だより
貼付写真枚数	枚			
その他ご希望	（例 写真の順番・重要度など）			

- ◆へんしゅうこうき
- ★今年の夏は、4年に一度のオリンピックイヤー。今大会は地球の反対側、時差で12時間のブラジルはリオ・デ・ジャネイロで開催された。初期の報道では、衛生面や会場の不備などが指摘され、選手達は実力を出せないのではないとも言われていた。ところが、終わってみれば日本選手は史上最高のメダル総数41個と大活躍であった。水泳、体操、柔道、卓球、レスリングなど、我々に多くの感動を与えてくれた。今や日本の“お家芸”とも言える女子レスリングでは、伊調選手が世界初の4連覇を成し遂げた。実は正式種目になったのが2004年アテネ大会からなので、彼女は誰にも譲らずにずっと金メダルを取り続けていることになる。
 - ★他の競技においても、日本の選手達は、身体的な能力では劣っていても、持ち前の技術力でそれらを補ない肉薄した。象徴的であったのは陸上男子400mリレーの銀メダルだった。100mを9秒台で走る選手がいないのに、アンダーハンドパスの繋ぎでジャマイカには迫り、アメリカより早くゴールを割った。
 - ★オリンピックも熱かったが、今年も記録的な猛暑に見舞われた。これは南米沖でラニーニャ現象が発生しているためだ。過去にラニーニャ現象が関わった猛暑がある、平成22年だ。そして注意すべき点は、夏の猛暑の後で冬はかなりの極寒になるということだ。翌年の平成23年は豪雪だった。このような異常気象の原因は地球温暖化であるわけだから、本当に地球規模での対策が急務である。
 - ★本誌が発送される頃には、既に120周年記念誌が皆さまのお手元に届いていると思います。1,000日もの準備期間を経て盛大に行われた式典・講演会・祝賀会などの120周年記念事業。私もゴルフ大会をはじめ広報部のカメラ係として参加しました。従来の記念誌からは写真構成、文章構成などを一新したレイアウトの記念誌を楽しんでいただけたと思っています。
 - ★現在、広報部ではタイムリーな情報やデータ量の多い原稿、枚数の多い写真等はWebに掲載し、記録として残したいものや、各年代幅広く伝えたいものは従来どおり会報誌と、その情報の特徴によって会報誌あるいはWebで発信しています。また、過去の資料もアーカイブからダウンロード可能となっています。皆さまぜひご利用下さい。

(山口雅史 記)

同窓会 Web : <http://www.tdc-alumni.jp>

広報部 Facebook ページ : <https://www.facebook.com/TDCalumni/>

広報部広報委員会

委員長：昭和53年卒 白田 準
 副委員長：昭和61年卒 福井 雅之
 ：平成4年卒 西村 哲雄
 ：平成7年卒 山口 雅史
 委員：昭和60年卒 奥野 圭子
 ：昭和60年卒 佐々木葉子
 ：昭和60年卒 皆川 雅彦
 ：昭和63年卒 渡邊 宇一
 ：平成3年卒 島田 篤
 ：平成4年卒 本間 敬和

委員：平成9年卒 末原 正崇
 ：平成10年卒 横田 東生
 ：平成16年卒 菅原 圭亮
 協力委員：昭和58年卒 古澤 成博
 ：昭和62年卒 北村 晃
 ：昭和63年卒 岩田 昌久
 ：平成1年卒 長岡未佐子
 ：平成11年卒 片山 明彦
 広報部担当副会長：昭和57年卒 富山 雅史
 担当理事：昭和56年卒 小池 修
 ：昭和61年卒 岡村美恵子

平成28年10月20日 印刷	発行人 小 池 修
平成28年10月25日 発行	編集人 白 田 準
東京歯科大学同窓会会報 第405号	東京歯科大学同窓会
同窓会ホームページアドレス	〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18
http://www.tdc-alumni.jp	電話 (03) 5275-1761
	FAX (03) 3264-4859
	印刷所 一世印刷株式会社
	〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
	電話 (03) 3952-5651 (代)